

利用上の注意

この報告書は、経済産業省生産動態統計調査及び神奈川県工業生産統計調査等の結果に基づき、平成23年の工業生産指数を集録したものです。

1 工業生産指数

工業生産指数とは、経済産業省及び本県の指定する品目の、毎月末現在における生産・出荷及び在庫の数量等を把握し、工業生産活動の推移を指数化して示したものです。なお、国機関等との指数比較をする際には「製造工業指数」と表記しています。

2 原指数と季節調整済指数

原指数は、年別の動向や前年比を長期的に観察する場合に使用し、季節調整済指数は、月々の動向や四半期別の動向を短期的に観察する場合に使用しています。

このため、本文中で使用している前年（末）比は原指数を、前期（末）比は季節調整済指数を用いて算出しています。

3 その他

（1）本書で使用している略称、記号等

「生産指数」、「生産者出荷指数」、「生産者製品在庫指数」、「生産者製品在庫率指数」をそれぞれ「生産（指数）」、「出荷（指数）」、「在庫（指数）」、「在庫率（指数）」と略記しています。また、指数の伸び率は原則として「上昇」、「低下」を用いますが、品目別の指数については「増加」、「減少」を用いており、一部で「増加」を「増」、「減少」を「減」と略記しています。

なお、「○年」とあるものは暦年間（1～12月）を示し、「Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」は「1～3月期（末）」、「4～6月期（末）」、「7～9月期（末）」、「10～12月期（末）」を表しています。

グラフ、表中における記号の用法は以下のとおりです。

「—」…該当がないもの 「△」…マイナス（比較減）

「X」…数値が秘匿されているもの

（2）業種分類、採用品目数等

「神奈川県工業生産指数について」（P87～P96）を参照してください。

I 神奈川県工業生産の動向

1 概要 ー生産指数は前年比△5.5%と2年ぶりに低下ー

(1) 生産の動向

生産指数（原指数）は、77.4で前年比5.5%低下し、2年ぶりに低下しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、Ⅰ期は前期比5.1%低下し2期連続して低下、Ⅱ期は同7.3%上昇、Ⅲ期は同5.1%低下、Ⅳ期は同0.9%上昇しました。

<全国及び局管内の動き>

全国の製造工業指数（原指数）は、92.1で前年比2.5%低下し、2年ぶりに低下しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、Ⅰ期は前期比1.5%低下し3期連続して低下、Ⅱ期も同4.3%低下、Ⅲ期は同5.5%上昇、Ⅳ期も同0.5%上昇しました。

関東経済産業局管内の製造工業指数（原指数）は、86.4で前年比4.0%低下し、2年ぶりに低下しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、Ⅰ期は前期比4.2%低下し3期連続して低下、Ⅱ期も同2.2%低下、Ⅲ期は同4.3%上昇、Ⅳ期も同1.0%上昇しました。

(2) 出荷の動向

出荷指数（原指数）は、78.6で前年比4.6%低下し、2年ぶりに低下しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、Ⅰ期は前期比4.3%低下し2期連続して低下、Ⅱ期は同4.0%上昇、Ⅲ期は同3.0%低下、Ⅳ期は同3.1%上昇しました。

(3) 在庫の動向

在庫指数（原指数）は、89.9で前年末比10.4%上昇し、4年ぶりに上昇しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、Ⅰ期は前期末比1.1%低下し4期連続して低下、Ⅱ期は同10.4%上昇、Ⅲ期も同4.4%上昇、Ⅳ期は同2.0%低下しました。

◎ 年間の動き

以上のように、生産指数（季節調整済指数）は、Ⅰ期、Ⅲ期は低下、Ⅱ期、Ⅳ期は上昇しました。出荷指数（同）は、Ⅰ期、Ⅲ期は低下、Ⅱ期、Ⅳ期は上昇しました。在庫指数（同）の前期末比では、Ⅱ期、Ⅲ期は上昇、Ⅰ期、Ⅳ期は低下しました。

また、生産指数（原指数）の前年同期比では各期とも低下しました。出荷指数（同）の前年同期比ではⅣ期を除いて各期とも低下しました。在庫指数（同）の前年同期末比はⅠ期を除いて各期とも上昇しました。

県内の工業生産は2年ぶりに低下し、輸送機械工業や化学工業などが低下に寄与しました。

全国の工業生産は、Ⅰ期、Ⅱ期と前年に引き続き4期連続の低下となった後、Ⅲ期、Ⅳ期と2期連続の上昇となりました。

（P2図1・表1、P5表3、P6表4 参照）

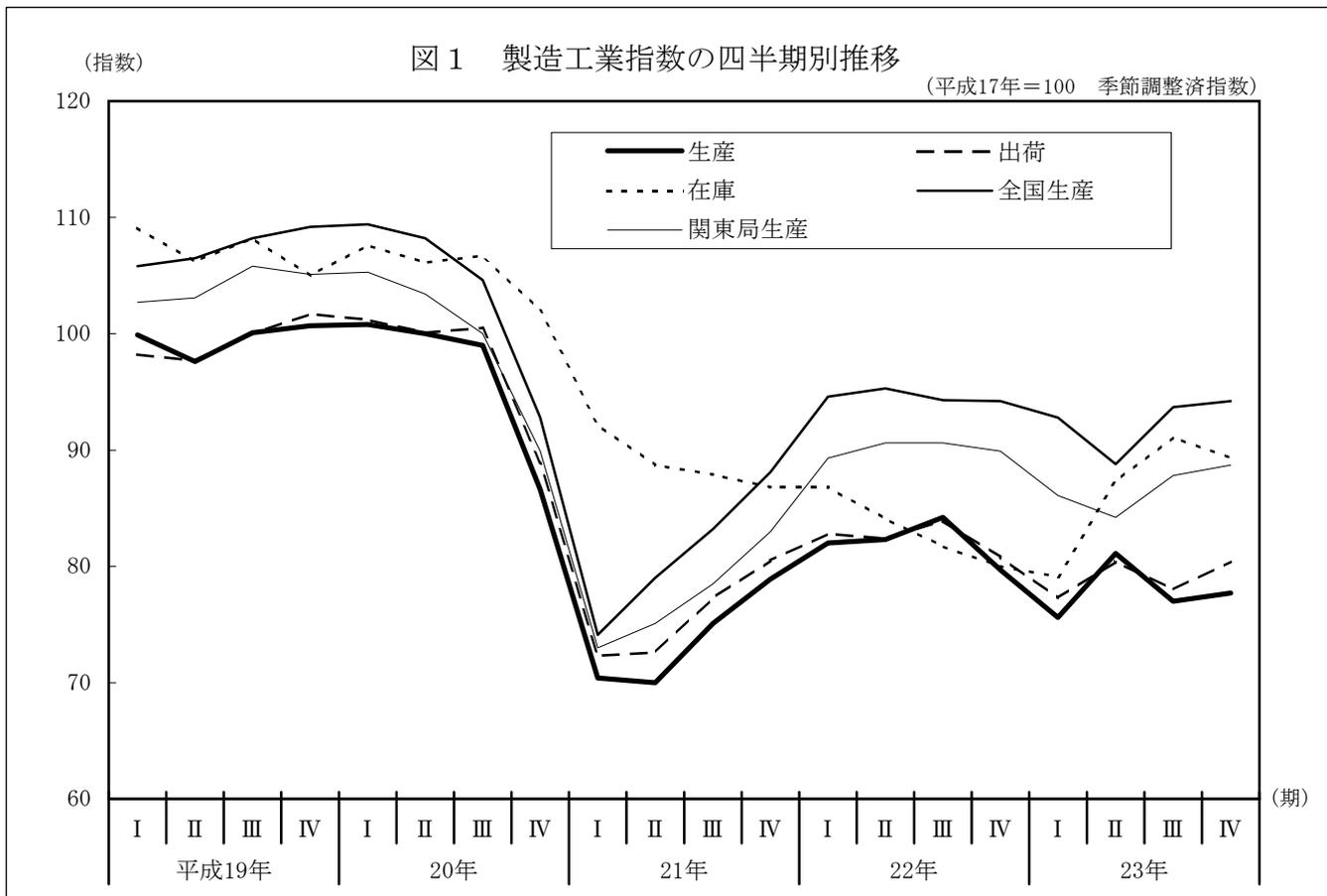


表1 製造工業指数の年別・四半期別推移

(平成17年=100)

		平成19年	20年	21年	22年	23年	23年			
							I	II	III	IV
神奈川県	指数	99.4	96.6	73.2	81.9	77.4	75.6	81.1	77.0	77.7
	生産	対前年(期)増減率% △ 1.7	△ 2.8	△ 24.2	11.9	△ 5.5	△ 5.1	7.3	△ 5.1	0.9
		対前年同期増減率%	-	-	-	-	△ 9.3	△ 1.6	△ 8.6	△ 2.0
	指数	99.2	97.7	75.4	82.4	78.6	77.3	80.4	78.0	80.4
	出荷	対前年(期)増減率% △ 1.3	△ 1.5	△ 22.8	9.3	△ 4.6	△ 4.3	4.0	△ 3.0	3.1
		対前年同期増減率%	-	-	-	-	△ 8.4	△ 3.0	△ 6.5	0.1
	指数	106.7	103.4	88.7	81.4	89.9	79.1	87.3	91.1	89.3
	在庫	対前年(期)末増減率% 0.7	△ 3.1	△ 14.2	△ 8.2	10.4	△ 1.1	10.4	4.4	△ 2.0
		対前年同期末増減率%	-	-	-	-	△ 10.4	4.0	12.1	10.4
全国	指数	107.4	103.8	81.0	94.5	92.1	92.8	88.8	93.7	94.2
	生産	対前年(期)増減率% 2.8	△ 3.4	△ 22.0	16.7	△ 2.5	△ 1.5	△ 4.3	5.5	0.5
		対前年同期増減率%	-	-	-	-	△ 1.3	△ 6.0	△ 0.9	△ 1.7
関東経済産業局管内	指数	104.1	99.7	77.3	90.0	86.4	86.1	84.2	87.8	88.7
	生産	対前年(期)増減率% 2.2	△ 4.2	△ 22.5	16.4	△ 4.0	△ 4.2	△ 2.2	4.3	1.0
		対前年同期増減率%	-	-	-	-	△ 4.4	△ 5.9	△ 3.1	△ 2.7

* 年指数は原指数、四半期指数は季節調整指数。ただし、対前年同期(末)増減率は原指数で計算

* 関東経済産業局管内：栃木県、群馬県、茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、新潟県、長野県、静岡県の地域

(4) 業種別の動向

<生産>

業種別にみると、乗用車ボデーや特装ボデーなどが減少した輸送機械工業（前年比 8.6% 低下）や、医薬品などが減少した化学工業（同 7.4% 低下）など 12 業種が低下しました。

また、はん用内燃機関などが増加した一般機械工業（前年比 6.8% 上昇）などの 6 業種が上昇しました。

<出荷>

業種別にみると、乗用車ボデーや特装ボデーなどが減少した輸送機械工業（前年比 6.3% 低下）や、医薬品などが減少した化学工業（同 7.9% 低下）など 12 業種が低下しました。

また、油圧機器などが増加した一般機械工業（前年比 7.0% 上昇）などの 5 業種が上昇しました。

<在庫>

業種別にみると、軸受やはん用内燃機関などが増加した一般機械工業（前年末比 36.3% 上昇）や合成ゴムなどが増加した化学工業（同 17.2% 上昇）など 11 業種が上昇しました。

また、自動車用照明器具などが減少した電気機械工業（前年末比 29.6% 低下）などの 7 業種が低下しました。

(P 3 図 2、P 4 表 2、P 5 表 3 参照)

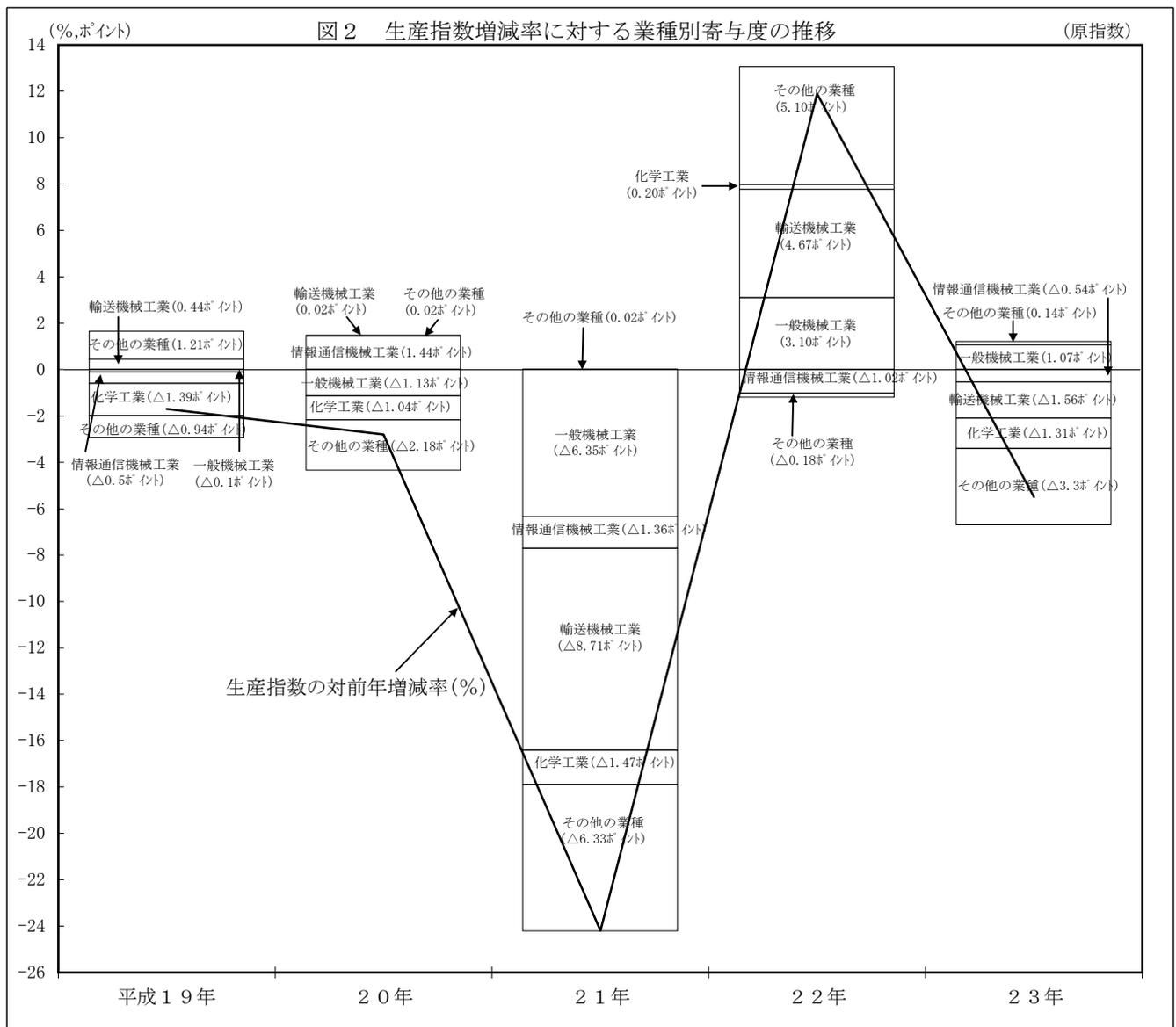


表2 工業生産指数の上昇・低下に寄与した主な業種と品目

(1) 生産 年指数 77.4 対前年増減率 △5.5% 上昇6業種、低下12業種

業 種		対前年増減率(%)	寄与度(ポイント)	上昇または低下に寄与した主な品目	
上昇	一般機械工業	6.8	1.07	増	はん用内燃機関、油圧機器、蒸気タービン部品など
				減	半導体製造装置、プラスチック用金型、一般用蒸気タービンなど
低	輸送機械工業	△ 8.6	△ 1.56	増	鋼船、シャシー・車体部品、普通乗用車など
				減	乗用車ボデー、特装ボデー、自動車機関部品など
	化学工業	△ 7.4	△ 1.31	増	合成ゴム、酸化エチレン、合成洗剤など
				減	医薬品、化粧品、写真フィルムなど
金属製品工業	△ 19.2	△ 0.76	増	超硬チップ、食缶、アルミサッシなど	
			減	橋りょう、ベンディングロール成型鋼管、ばねなど	
下	電子部品・デバイス工業	△ 16.8	△ 0.72	増	磁気テープ、光電変換素子、整流素子など
				減	コネクタ、モス型半導体集積回路(CCD)、線形半導体集積回路など
	電気機械工業	△ 12.3	△ 0.68	増	工業用計測制御機器、電気計器、電力変換装置など
				減	自動車用照明器具、交流発電機、その他の電子応用装置など
	情報通信機械工業	△ 5.9	△ 0.54	増	固定通信装置、金銭登録機、交換機
				減	無線応用装置、外部記憶装置、端末装置など

(2) 出荷 年指数 78.6 対前年増減率 △4.6% 上昇5業種、低下12業種、横ばい1業種

業 種		対前年増減率(%)	寄与度(ポイント)	上昇または低下に寄与した主な品目	
上昇	一般機械工業	7.0	0.89	増	油圧機器、蒸気タービン部品、はん用内燃機関など
				減	半導体製造装置、一般用蒸気タービン、プラスチック用金型など
低	輸送機械工業	△ 6.3	△ 1.42	増	鋼船、フォークリフトトラック、普通乗用車など
				減	乗用車ボデー、特装ボデー、小型乗用車など
	化学工業	△ 7.9	△ 1.07	増	合成ゴム、エチレングリコール、メタクリル酸エステルなど
				減	医薬品、化粧品、ポリエチレンなど
情報通信機械工業	△ 7.7	△ 0.64	増	固定通信装置、金銭登録機、交換機	
			減	ビデオカメラ、無線応用装置、端末装置など	
下	食料品・飲料工業	△ 6.6	△ 0.48	増	チョコレート、チーズ、果実酒など
				減	清涼飲料(炭酸飲料除く)、炭酸飲料、牛乳など
	電子部品・デバイス工業	△ 12.7	△ 0.46	増	磁気テープ、光電変換素子、パッシブ型液晶素子
				減	モス型半導体集積回路(論理素子)、コネクタ、線形半導体集積回路など
電気機械工業	△ 10.5	△ 0.45	増	工業用計測制御機器、アルカリ蓄電池、電気計器など	
			減	自動車用照明器具、交流発電機、その他の電子応用装置など	

(3) 在庫 年指数 89.9 対前年末増減率 10.4% 上昇11業種、低下7業種

業 種		対前年末増減率(%)	寄与度(ポイント)	上昇または低下に寄与した主な品目	
上	一般機械工業	36.3	6.89	増	軸受、はん用内燃機関、装軌式トラクタなど
				減	数値制御放電加工機、超硬工具、掘さく機械など
	化学工業	17.2	2.92	増	合成ゴム、写真フィルム、ポリエチレンなど
				減	純ベンゼン、塩化ビニル樹脂、プロピレンなど
輸送機械工業	38.8	2.54	増	普通トラック、大型バス、けん引車など	
			減	小型トラック、小型バス、普通乗用車など	
上昇	電子部品・デバイス工業	31.3	1.78	増	モス型半導体集積回路(論理素子)、光電変換素子、トランジスタなど
				減	線形半導体集積回路
情報通信機械工業	31.7	0.23	増	補聴器、金銭登録機	
			減	ボタン電話装置、コードレスホン、陸上移動通信装置	
低下	電気機械工業	△ 29.6	△ 2.71	増	一般用白熱灯器具、アルカリ蓄電池、電気計器など
				減	自動車用照明器具、蛍光灯器具、換気扇など
鉄鋼業	△ 12.3	△ 1.39	増	普通鋼鋼帯、特殊鋼磨棒鋼・線類、特殊鋼熱間圧延鋼材	
			減	鋼半製品、普通鋼冷間仕上鋼材、特殊鋼鋼管など	

表 3

業種別年指数・対前年増減率

(平成17年=100 原指数)

業 種	項 目	生 産				出 荷				在 庫				在 庫 率			
		20年	21年	22年	23年	20年	21年	22年	23年	20年	21年	22年	23年	20年	21年	22年	23年
製 造 工 業	指 数	96.6	73.2	81.9	77.4	97.7	75.4	82.4	78.6	103.4	88.7	81.4	89.9	113.9	153.4	108.3	111.3
	対前年増減率%	△ 2.8	△ 24.2	11.9	△ 5.5	△ 1.5	△ 22.8	9.3	△ 4.6	△ 3.1	△ 14.2	△ 8.2	10.4	10.2	34.7	△ 29.4	2.8
鉄 鋼 業	指 数	109.2	74.9	101.2	94.4	107.1	68.0	88.7	86.0	98.6	81.9	91.0	79.8	100.3	120.7	105.0	112.1
	対前年増減率%	△ 0.1	△ 31.4	35.1	△ 6.7	0.5	△ 36.5	30.4	△ 3.0	△ 20.8	△ 16.9	11.1	△ 12.3	△ 4.8	20.3	△ 13.0	6.8
非鉄金属 工 業	指 数	113.7	101.0	113.9	107.0	123.3	118.9	129.2	117.1	94.1	88.6	104.4	117.0	98.9	121.2	101.2	121.7
	対前年増減率%	1.4	△ 11.2	12.8	△ 6.1	5.6	△ 3.6	8.7	△ 9.4	△ 10.3	△ 5.8	17.8	12.1	9.6	22.5	△ 16.5	20.3
金属製品 工 業	指 数	100.5	77.0	96.8	78.2	99.9	82.3	95.7	81.3	99.6	89.5	77.2	90.3	110.0	129.9	100.4	123.0
	対前年増減率%	△ 8.1	△ 23.4	25.7	△ 19.2	△ 8.5	△ 17.6	16.3	△ 15.0	△ 14.4	△ 10.1	△ 13.7	17.0	2.9	18.1	△ 22.7	22.5
一般機械 工 業	指 数	97.2	61.6	74.8	79.9	97.2	61.4	72.4	77.5	130.1	99.3	77.9	106.2	132.3	294.4	133.8	125.6
	対前年増減率%	△ 6.3	△ 36.6	21.4	6.8	△ 6.1	△ 36.8	17.9	7.0	0.0	△ 23.7	△ 21.6	36.3	8.4	122.5	△ 54.6	△ 6.1
電気機械 工 業	指 数	87.0	72.3	73.1	64.1	87.8	72.7	74.3	66.5	97.0	150.4	94.2	66.3	102.5	127.1	132.9	93.1
	対前年増減率%	△ 9.6	△ 16.9	1.1	△ 12.3	△ 9.0	△ 17.2	2.2	△ 10.5	△ 9.1	55.1	△ 37.4	△ 29.6	8.4	24.0	4.6	△ 29.9
情報通信 機械工業	指 数	122.9	105.9	96.2	90.5	145.8	125.1	112.4	103.7	36.8	24.9	18.0	23.7	129.5	33.9	35.2	32.5
	対前年増減率%	17.8	△ 13.8	△ 9.2	△ 5.9	29.7	△ 14.2	△ 10.2	△ 7.7	△ 28.7	△ 32.3	△ 27.7	31.7	95.0	△ 73.8	3.8	△ 7.7
電子部品・ デバイス工業	指 数	118.7	89.3	127.7	106.2	114.3	81.4	108.0	94.3	147.0	111.7	171.5	225.1	101.2	147.3	121.6	225.5
	対前年増減率%	△ 5.6	△ 24.8	43.0	△ 16.8	△ 5.7	△ 28.8	32.7	△ 12.7	36.9	△ 24.0	53.5	31.3	△ 3.5	45.6	△ 17.4	85.4
輸送機械 工 業	指 数	98.0	56.4	73.3	67.0	99.0	58.6	76.5	71.7	67.1	48.5	43.0	59.7	83.3	73.9	57.7	63.0
	対前年増減率%	0.1	△ 42.4	30.0	△ 8.6	1.0	△ 40.8	30.5	△ 6.3	△ 25.1	△ 27.7	△ 11.3	38.8	8.7	△ 11.3	△ 21.9	9.2
精密機械 工 業	指 数	93.1	67.8	78.0	86.0	104.0	62.4	64.7	72.8	110.4	120.5	119.2	116.3	108.2	220.7	149.0	130.9
	対前年増減率%	△ 7.0	△ 27.2	15.0	10.3	△ 6.6	△ 40.0	3.7	12.5	△ 9.0	9.1	△ 1.1	△ 2.4	△ 2.8	104.0	△ 32.5	△ 12.1
窯業・土石 製品工業	指 数	91.5	58.8	60.3	59.9	90.7	61.7	65.3	64.3	133.1	99.5	84.7	87.4	133.0	144.4	112.9	118.7
	対前年増減率%	△ 6.4	△ 35.7	2.6	△ 0.7	△ 5.0	△ 32.0	5.8	△ 1.5	16.2	△ 25.2	△ 14.9	3.2	9.6	8.6	△ 21.8	5.1
化学工業	指 数	85.8	78.1	78.9	73.1	85.5	78.9	79.4	73.1	112.9	87.6	87.3	102.3	120.5	139.7	100.5	113.9
	対前年増減率%	△ 6.1	△ 9.0	1.0	△ 7.4	△ 7.2	△ 7.7	0.6	△ 7.9	11.3	△ 22.4	△ 0.3	17.2	16.9	15.9	△ 28.1	13.3
石油・石炭 製品工業	指 数	87.8	88.2	85.7	83.2	88.8	88.2	83.8	83.0	106.4	97.9	97.3	88.5	125.1	129.9	135.2	128.0
	対前年増減率%	△ 5.2	0.5	△ 2.8	△ 2.9	△ 2.8	△ 0.7	△ 5.0	△ 1.0	16.9	△ 8.0	△ 0.6	△ 9.0	18.0	3.8	4.1	△ 5.3
プラスチック 製品工業	指 数	79.7	61.9	72.5	67.9	80.2	61.6	72.0	67.5	75.8	62.0	62.4	65.0	98.8	100.8	90.3	102.2
	対前年増減率%	△ 6.9	△ 22.3	17.1	△ 6.3	△ 8.4	△ 23.2	16.9	△ 6.3	△ 6.1	△ 18.2	0.6	4.2	4.1	2.0	△ 10.4	13.2
紙・紙加工品 工 業	指 数	102.6	97.9	102.5	103.4	100.0	92.4	94.3	94.3	67.8	79.4	88.1	82.3	64.5	87.0	83.1	88.4
	対前年増減率%	0.9	△ 4.6	4.7	0.9	1.8	△ 7.6	2.1	0.0	30.1	17.1	11.0	△ 6.6	△ 21.6	34.9	△ 4.5	6.4
繊維工業	指 数	108.4	93.3	109.1	114.7	99.9	86.1	97.5	102.1	110.1	91.7	113.2	116.4	86.2	84.2	87.5	92.4
	対前年増減率%	8.9	△ 13.9	16.9	5.1	2.6	△ 13.8	13.2	4.7	14.2	△ 16.7	23.4	2.8	△ 2.4	△ 2.3	3.9	5.6
食料品・ 飲料工業	指 数	92.2	88.3	90.2	85.3	91.8	88.1	89.1	83.2	98.8	80.7	92.9	87.2	109.6	107.1	104.9	105.7
	対前年増減率%	△ 6.8	△ 4.2	2.2	△ 5.4	△ 7.0	△ 4.0	1.1	△ 6.6	6.8	△ 18.3	15.1	△ 6.1	△ 0.2	△ 2.3	△ 2.1	0.8
その他工業	指 数	97.8	71.2	82.8	85.3	94.2	73.9	77.2	78.1	108.0	102.6	106.7	113.3	161.4	199.4	183.9	197.8
	対前年増減率%	△ 4.5	△ 27.2	16.3	3.0	△ 6.1	△ 21.5	4.5	1.2	△ 11.7	△ 5.0	4.0	6.2	18.0	23.5	△ 7.8	7.6
ゴム製品 工 業	指 数	107.6	76.9	94.0	96.5	103.4	81.4	86.7	87.3	110.5	97.5	116.9	113.0	122.6	139.0	148.9	170.2
	対前年増減率%	0.3	△ 28.5	22.2	2.7	△ 1.2	△ 21.3	6.5	0.7	△ 6.8	△ 11.8	19.9	△ 3.3	5.0	13.4	7.1	14.3
家具工業	指 数	71.9	56.2	53.2	55.8	71.8	55.4	54.0	55.8	102.3	114.3	83.1	113.8	250.9	338.9	264.7	261.6
	対前年増減率%	△ 19.7	△ 21.8	△ 5.3	4.9	△ 19.8	△ 22.8	△ 2.5	3.3	△ 21.7	11.7	△ 27.3	36.9	37.2	35.1	△ 21.9	△ 1.2
公 益 事 業	指 数	116.5	113.5	117.6	119.6	105.7	98.3	103.5	95.2	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前年増減率%	10.1	△ 2.6	3.6	1.7	1.1	△ 7.0	5.3	△ 8.0	-	-	-	-	-	-	-	-
機 械 工 業	指 数	101.0	68.6	79.8	76.3	103.7	69.5	80.8	77.7	101.9	90.4	73.3	88.4	111.8	179.1	106.0	102.7
	対前年増減率%	△ 0.9	△ 32.1	16.3	△ 4.4	1.3	△ 33.0	16.3	△ 3.8	△ 6.1	△ 11.3	△ 18.9	20.6	11.6	60.2	△ 40.8	△ 3.1

*生産・出荷・在庫率は年平均(年平均比)、在庫は年末(年末比)

*公益事業、機械工業は参考系列(P87 業種分類参照)

表 4

平成23年業種別四半期指数・対前期増減率

(平成17年=100 季節調整済指数)

業種	項目	生産				出荷				在庫				在庫率			
		I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
製造工業	指数	75.6	81.1	77.0	77.7	77.3	80.4	78.0	80.4	79.1	87.3	91.1	89.3	102.7	106.6	117.7	119.0
	対前期増減率%	△ 5.1	7.3	△ 5.1	0.9	△ 4.3	4.0	△ 3.0	3.1	△ 1.1	10.4	4.4	△ 2.0	△ 6.6	3.8	10.4	1.1
鉄鋼業	指数	103.2	99.2	90.7	86.5	91.2	87.9	83.6	82.5	93.4	96.9	96.7	78.9	109.3	117.6	113.7	109.0
	対前期増減率%	0.8	△ 3.9	△ 8.6	△ 4.6	2.9	△ 3.6	△ 4.9	△ 1.3	8.4	3.7	△ 0.2	△ 18.4	3.0	7.6	△ 3.3	△ 4.1
非鉄金属工業	指数	109.1	103.2	107.6	109.4	123.2	104.8	117.2	124.6	97.5	110.6	120.2	113.9	103.5	108.8	142.6	137.2
	対前期増減率%	△ 2.2	△ 5.4	4.3	1.7	△ 2.1	△ 14.9	11.8	6.3	△ 3.9	13.4	8.7	△ 5.2	△ 7.8	5.1	31.1	△ 3.8
金属製品工業	指数	77.5	83.4	75.1	81.2	80.6	87.0	77.0	84.4	83.3	100.1	96.8	92.7	113.0	129.5	128.6	121.8
	対前期増減率%	△ 5.4	7.6	△ 10.0	8.1	△ 6.6	7.9	△ 11.5	9.6	6.7	20.2	△ 3.3	△ 4.2	6.9	14.6	△ 0.7	△ 5.3
一般機械工業	指数	76.9	83.4	79.0	82.8	75.3	79.2	76.9	81.3	74.2	89.2	99.3	100.8	105.3	104.7	147.0	147.8
	対前期増減率%	0.4	8.5	△ 5.3	4.8	△ 1.2	5.2	△ 2.9	5.7	0.4	20.2	11.3	1.5	△ 26.5	△ 0.6	40.4	0.5
電気機械工業	指数	65.5	63.6	60.4	66.4	68.3	65.7	63.4	68.7	85.2	81.6	62.8	60.6	102.9	109.2	81.8	76.7
	対前期増減率%	△ 9.2	△ 2.9	△ 5.0	9.9	△ 8.7	△ 3.8	△ 3.5	8.4	△ 1.6	△ 4.2	△ 23.0	△ 3.5	△ 7.8	6.1	△ 25.1	△ 6.2
情報通信機械工業	指数	86.7	108.4	92.9	81.5	99.6	124.3	105.2	93.4	18.4	18.4	22.9	28.3	26.7	23.2	36.3	46.2
	対前期増減率%	△ 6.4	25.0	△ 14.3	△ 12.3	△ 6.4	24.8	△ 15.4	△ 11.2	△ 21.0	0.0	24.5	23.6	6.8	△ 13.1	56.5	27.3
電子部品・デバイス工業	指数	120.5	103.7	108.9	94.8	106.6	90.0	95.9	86.5	181.6	216.3	222.4	216.2	159.4	224.8	243.8	284.2
	対前期増減率%	△ 4.8	△ 13.9	5.0	△ 12.9	4.4	△ 15.6	6.6	△ 9.8	10.8	19.1	2.8	△ 2.8	△ 1.9	41.0	8.5	16.6
輸送機械工業	指数	66.2	60.2	65.8	75.0	69.2	63.0	70.3	82.4	27.7	50.9	64.7	59.1	58.9	67.9	62.7	60.7
	対前期増減率%	△ 1.0	△ 9.1	9.3	14.0	△ 4.2	△ 9.0	11.6	17.2	△ 35.1	83.8	27.1	△ 8.7	5.6	15.3	△ 7.7	△ 3.2
精密機械工業	指数	85.4	83.9	84.0	93.3	73.0	68.4	68.2	83.9	118.7	128.8	121.9	113.2	126.8	145.1	140.5	110.3
	対前期増減率%	10.5	△ 1.8	0.1	11.1	10.4	△ 6.3	△ 0.3	23.0	2.8	8.5	△ 5.4	△ 7.1	△ 5.5	14.4	△ 3.2	△ 21.5
窯業・土石製品工業	指数	57.7	62.1	58.9	60.9	60.6	65.3	64.7	67.4	88.4	91.0	91.6	88.1	119.5	126.6	119.9	109.4
	対前期増減率%	△ 0.2	7.6	△ 5.2	3.4	△ 2.7	7.8	△ 0.9	4.2	3.6	2.9	0.7	△ 3.8	7.4	5.9	△ 5.3	△ 8.8
化学工業	指数	70.7	81.2	71.6	69.7	72.7	78.3	72.0	70.1	81.8	90.6	97.1	100.9	97.8	111.9	118.8	129.1
	対前期増減率%	△ 6.5	14.9	△ 11.8	△ 2.7	△ 5.3	7.7	△ 8.0	△ 2.6	△ 5.2	10.8	7.2	3.9	△ 9.1	14.4	6.2	8.7
石油・石炭製品工業	指数	80.5	90.0	84.8	77.7	81.0	88.7	83.1	80.0	93.6	95.3	100.1	91.8	130.2	123.0	129.1	130.5
	対前期増減率%	△ 8.6	11.8	△ 5.8	△ 8.4	△ 6.6	9.5	△ 6.3	△ 3.7	△ 7.0	1.8	5.0	△ 8.3	0.5	△ 5.5	5.0	1.1
プラスチック製品工業	指数	71.9	67.9	65.3	67.3	70.6	67.2	66.1	67.2	69.4	72.3	65.9	65.7	92.2	109.4	106.6	100.9
	対前期増減率%	0.7	△ 5.6	△ 3.8	3.1	△ 0.7	△ 4.8	△ 1.6	1.7	12.3	4.2	△ 8.9	△ 0.3	4.2	18.7	△ 2.6	△ 5.3
紙・紙加工品工業	指数	104.1	105.7	99.8	104.6	104.3	89.4	93.4	91.5	68.1	117.7	88.3	94.5	74.2	101.4	86.8	87.1
	対前期増減率%	△ 0.8	1.5	△ 5.6	4.8	9.2	△ 14.3	4.5	△ 2.0	△ 35.6	72.8	△ 25.0	7.0	△ 18.6	36.7	△ 14.4	0.3
繊維工業	指数	114.6	122.0	112.2	110.4	102.8	109.2	100.2	98.9	100.8	94.9	89.2	93.1	90.4	87.5	90.9	102.1
	対前期増減率%	11.2	6.5	△ 8.0	△ 1.6	9.4	6.2	△ 8.2	△ 1.3	11.5	△ 5.9	△ 6.0	4.4	△ 10.8	△ 3.2	3.9	12.3
食料品・飲料工業	指数	83.3	87.8	85.4	84.9	81.5	85.9	83.2	83.1	104.2	103.5	101.2	94.7	105.6	103.4	110.6	105.6
	対前期増減率%	△ 7.2	5.4	△ 2.7	△ 0.6	△ 7.7	5.4	△ 3.1	△ 0.1	3.8	△ 0.7	△ 2.2	△ 6.4	△ 2.0	△ 2.1	7.0	△ 4.5
その他工業	指数	83.7	86.2	85.9	86.1	77.2	79.9	77.9	78.2	111.2	110.4	117.9	118.0	201.2	179.4	192.3	219.6
	対前期増減率%	3.0	3.0	△ 0.3	0.2	5.0	3.5	△ 2.5	0.4	1.2	△ 0.7	6.8	0.1	12.7	△ 10.8	7.2	14.2
ゴム製品工業	指数	93.8	96.8	97.7	98.0	86.1	87.9	87.8	88.2	122.4	122.3	126.4	122.1	174.2	162.3	171.2	173.4
	対前期増減率%	2.9	3.2	0.9	0.3	5.9	2.1	△ 0.1	0.5	△ 0.9	△ 0.1	3.4	△ 3.4	1.4	△ 6.8	5.5	1.3
家具工業	指数	59.9	57.2	53.0	52.8	59.2	57.3	52.8	53.2	84.2	84.4	97.4	108.1	248.3	209.3	248.5	339.4
	対前期増減率%	14.5	△ 4.5	△ 7.3	△ 0.4	10.7	△ 3.2	△ 7.9	0.8	5.9	0.2	15.4	11.0	18.7	△ 15.7	18.7	36.6
公益事業	指数	110.3	122.9	124.3	122.5	100.7	93.3	93.1	93.8	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前期増減率%	△ 6.5	11.4	1.1	△ 1.4	1.0	△ 7.3	△ 0.2	0.8	-	-	-	-	-	-	-	-
機械工業	指数	74.1	78.4	75.8	78.9	75.5	77.2	77.0	82.4	68.2	79.8	85.0	85.3	92.6	94.3	111.5	113.1
	対前期増減率%	△ 4.3	5.8	△ 3.3	4.1	△ 3.6	2.3	△ 0.3	7.0	△ 3.4	17.0	6.5	0.4	△ 13.8	1.8	18.2	1.4

*生産・出荷・在庫率は3か月平均(3か月平均比)、在庫は期末(期末比)

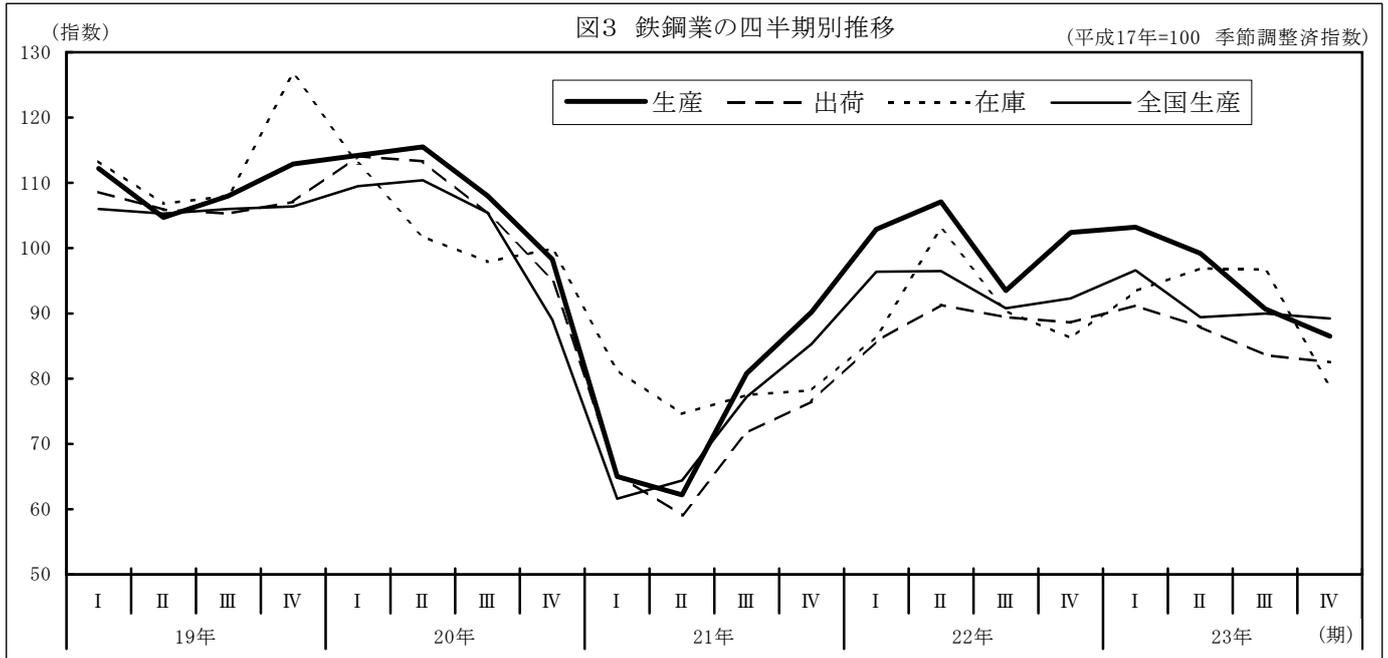
*公益事業、機械工業は参考系列(P87 業種分類参照)

2 各業種の動向

(1) 主要業種の動向

<鉄鋼業>

—生産、出荷とも2年ぶりの低下—



<生産>

生産指数(原指数)は、94.4で前年比6.7%低下し、2年ぶりに低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比0.8%上昇、II期は同3.9%低下、III期も同8.6%低下、IV期も同4.6%低下しました。

品目別にみると、鋼半製品や普通鋼鋼帯などが減少し、特殊鋼鋼管などが増加しました。

また、全国の鉄鋼業の生産指数(原指数)は、91.1で前年比2.9%低下し、2年ぶりに低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、86.0で前年比3.0%低下し、2年ぶりに低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比2.9%上昇、II期は同3.6%低下、III期も同4.9%低下、IV期も同1.3%低下しました。

品目別にみると、普通鋼冷間仕上鋼材や鋼半製品などが減少し、特殊鋼鋼管などが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、79.8で前年末比12.3%低下し、2年ぶりに低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比8.4%上昇、II期も同3.7%上昇、III期は同0.2%低下、IV期も同18.4%低下しました。

品目別にみると、鋼半製品や普通鋼冷間仕上鋼材などが減少し、普通鋼鋼帯などが増加しました。

表5 鉄鋼業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

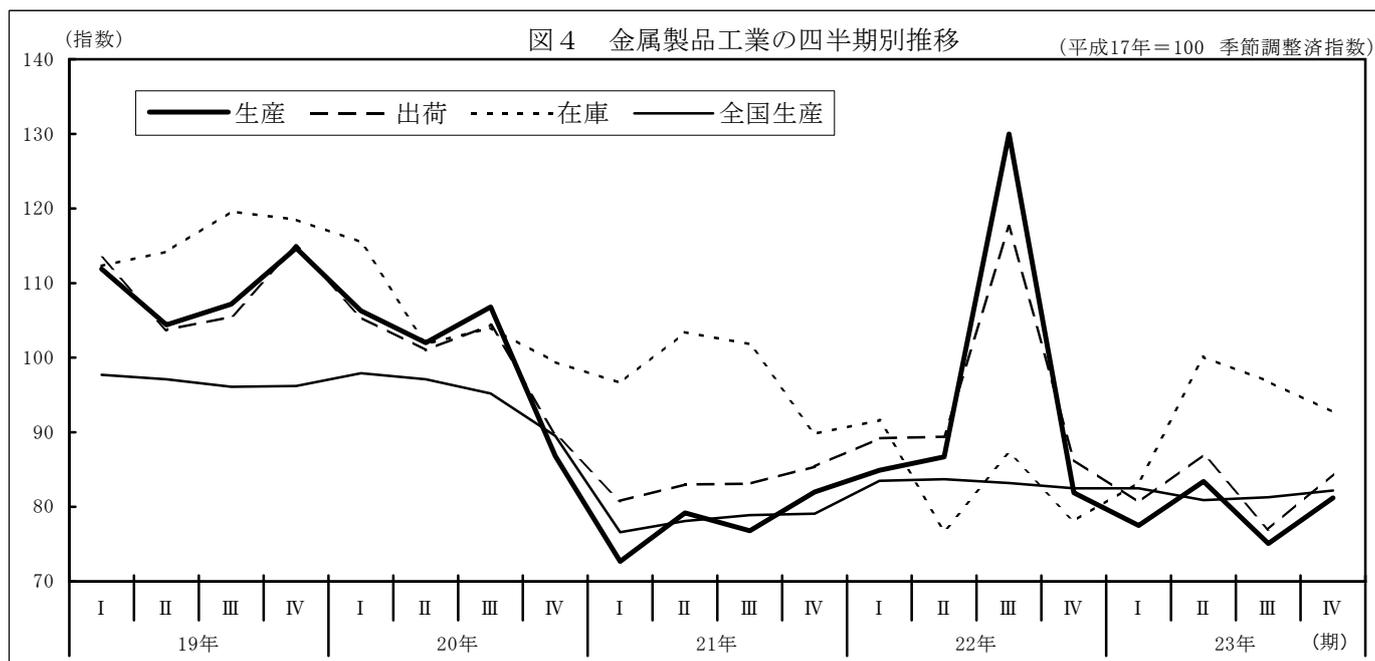
		22年	23年	I	II	III	IV	上昇又は低下に寄与した品目	
生産	指数	101.2	94.4	103.2	99.2	90.7	86.5	増	特殊鋼鋼管、普通鋼鋼板など
	対前年(期)増減率%	35.1	△ 6.7	0.8	△ 3.9	△ 8.6	△ 4.6	減	鋼半製品、普通鋼鋼帯、普通鋼冷間仕上鋼材など
出荷	指数	88.7	86.0	91.2	87.9	83.6	82.5	増	特殊鋼鋼管、特殊鋼熱間圧延鋼材など
	対前年(期)増減率%	30.4	△ 3.0	2.9	△ 3.6	△ 4.9	△ 1.3	減	普通鋼冷間仕上鋼材、鋼半製品、普通鋼鋼帯など
在庫	指数	91.0	79.8	93.4	96.9	96.7	78.9	増	普通鋼鋼帯、特殊鋼磨棒鋼・線類など
	対前年(期)末増減率%	11.1	△ 12.3	8.4	3.7	△ 0.2	△ 18.4	減	鋼半製品、普通鋼冷間仕上鋼材、特殊鋼鋼管など

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

*品目順は寄与度順に列記

<金属製品工業>

—生産、出荷とも2年ぶりの低下—



<生産>

生産指数(原指数)は、78.2で前年比19.2%低下し、2年ぶりに低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比5.4%低下、II期は同7.6%上昇、III期は同10.0%低下、IV期は同8.1%上昇しました。

品目別にみると、橋りょうやベンディングロール成型鋼管などが減少し、超硬チップなどが増加しました。また、全国の金属製品工業の生産指数(原指数)は、81.5で前年比1.9%低下し、2年ぶりに低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、81.3で前年比15.0%低下し、2年ぶりに低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比6.6%低下、II期は同7.9%上昇、III期は同11.5%低下、IV期は同9.6%上昇しました。

品目別にみると、橋りょうやベンディングロール成型鋼管などが減少し、アルミサッシなどが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、90.3で前年末比17.0%上昇し、5年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比6.7%上昇、II期も同20.2%上昇、III期は同3.3%低下、IV期も同4.2%低下しました。

品目別にみると、ガス機器や超硬チップなどが増加し、ドラム缶が減少しました。

表6 金属製品工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

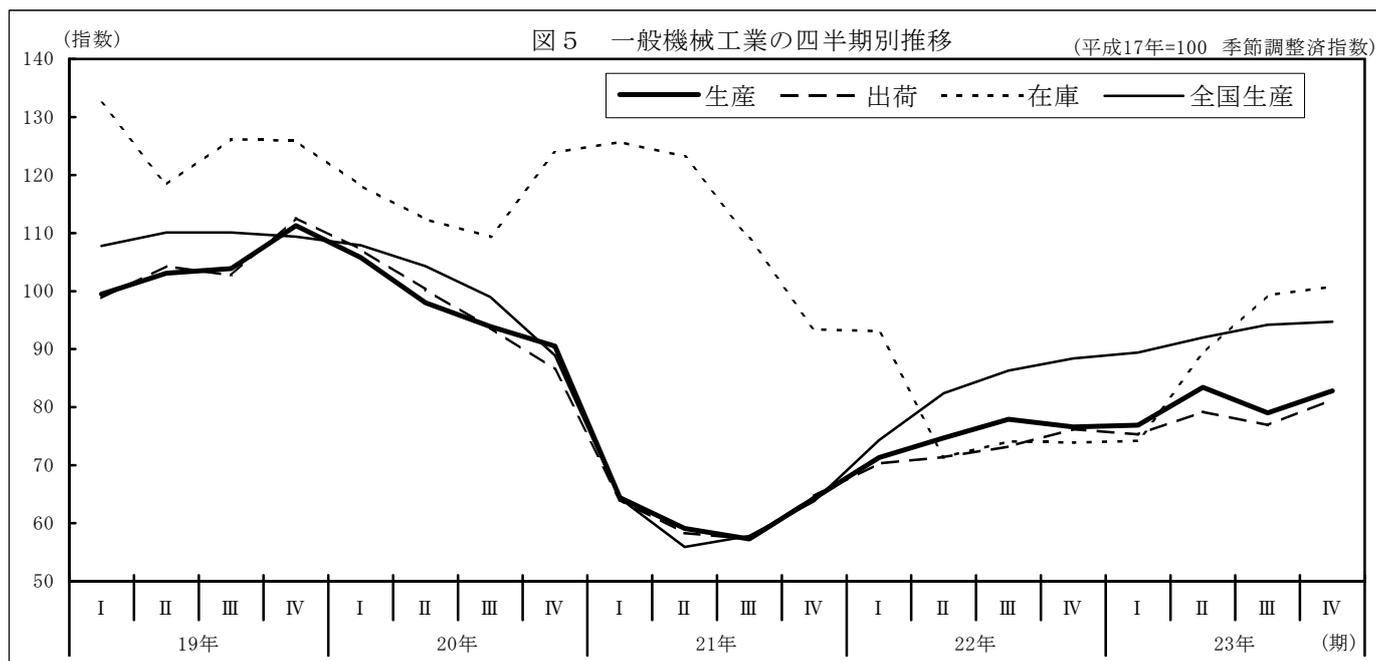
		22年	23年	23年				上昇又は低下に寄与した品目	
				I	II	III	IV		
生産	指数	96.8	78.2	77.5	83.4	75.1	81.2	増	超硬チップ、食缶など
	対前年(期)増減率%	25.7	△ 19.2	△ 5.4	7.6	△ 10.0	8.1	減	橋りょう、ベンディングロール成型鋼管、ばねなど
出荷	指数	95.7	81.3	80.6	87.0	77.0	84.4	増	アルミサッシ、食缶など
	対前年(期)増減率%	16.3	△ 15.0	△ 6.6	7.9	△ 11.5	9.6	減	橋りょう、ベンディングロール成型鋼管、ばねなど
在庫	指数	77.2	90.3	83.3	100.1	96.8	92.7	増	ガス機器、超硬チップ、飲料用アルミ缶など
	対前年(期)末増減率%	△ 13.7	17.0	6.7	20.2	△ 3.3	△ 4.2	減	ドラム缶

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

*品目順は寄与度順に列記

<一般機械工業>

—生産、出荷とも2年連続の上昇—



<生産>

生産指数(原指数)は、79.9で前年比6.8%上昇し、2年連続して上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比0.4%上昇、II期も同8.5%上昇、III期は同5.3%低下、IV期は同4.8%上昇しました。

品目別にみると、はん用内燃機関や油圧機器などが増加し、半導体製造装置などが減少しました。

また、全国の一般機械工業の生産指数(原指数)は、92.1で前年比11.2%上昇し、2年連続して上昇しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、77.5で前年比7.0%上昇し、2年連続して上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比1.2%低下、II期は同5.2%上昇、III期は同2.9%低下、IV期は同5.7%上昇しました。

品目別にみると、油圧機器や蒸気タービン部品などが増加し、半導体製造装置などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、106.2で前年末比36.3%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比0.4%上昇、II期も同20.2%上昇、III期も同11.3%上昇、IV期も同1.5%上昇しました。

品目別にみると、軸受やはん用内燃機関などが増加し、数値制御放電加工機などが減少しました。

表7 一般機械工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

		22年		23年			
		指数	増減率%	I	II	III	IV
生産	指数	74.8	21.4	76.9	83.4	79.0	82.8
	対前年(期)増減率%		6.8	0.4	8.5	△ 5.3	4.8
出荷	指数	72.4	17.9	75.3	79.2	76.9	81.3
	対前年(期)増減率%		7.0	△ 1.2	5.2	△ 2.9	5.7
在庫	指数	77.9	△ 21.6	106.2	74.2	89.2	99.3
	対前年(期)末増減率%		36.3	0.4	20.2	11.3	1.5

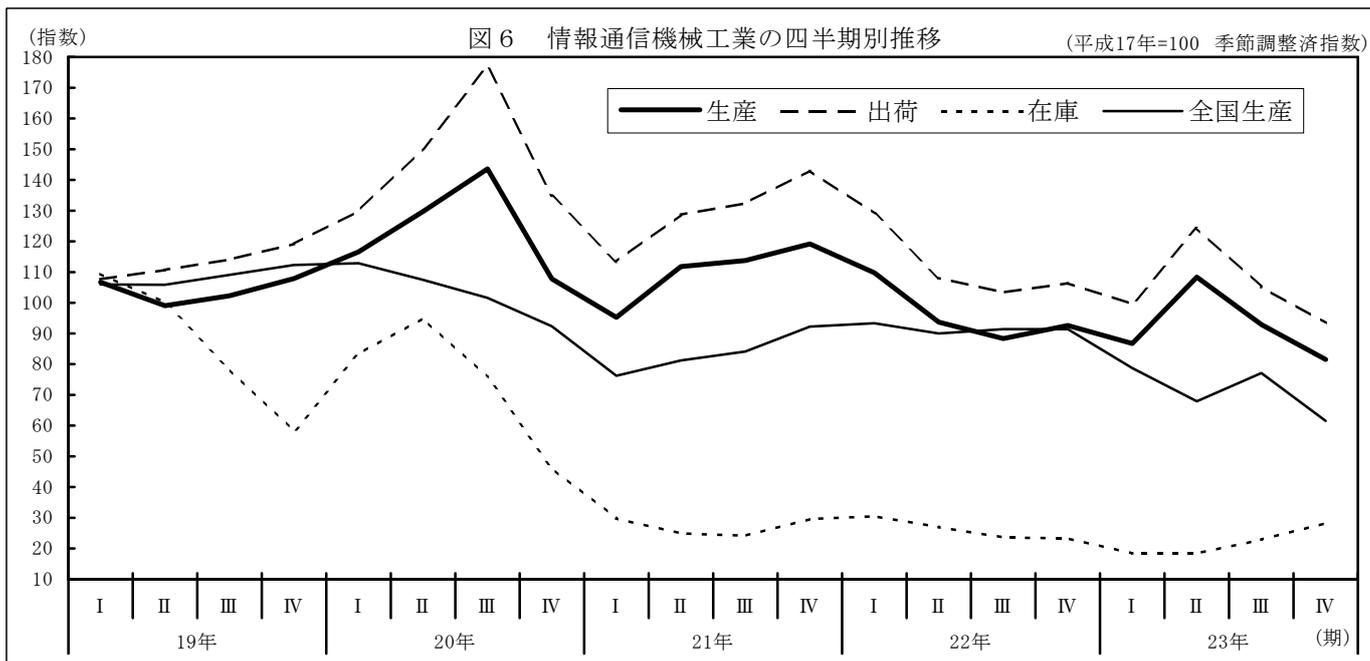
上昇又は低下に寄与した品目		
生産	増	はん用内燃機関、油圧機器、蒸気タービン部品など
	減	半導体製造装置、プラスチック用金型など
出荷	増	油圧機器、蒸気タービン部品、はん用内燃機関など
	減	半導体製造装置、一般用蒸気タービンなど
在庫	増	軸受、はん用内燃機関、装軌式トラクタなど
	減	数値制御放電加工機、超硬工具など

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

*品目順は寄与度順に列記

<情報通信機械工業>

—生産、出荷とも3年連続の低下—



<生産>

生産指数(原指数)は、90.5で前年比5.9%低下し、3年連続して低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比6.4%低下、II期は同25.0%上昇、III期は同14.3%低下、IV期も同12.3%低下しました。

品目別にみると、無線応用装置や外部記憶装置などが減少し、固定通信装置などが増加しました。

また、全国の情報通信機械工業の生産指数(原指数)は、71.0で前年比22.5%低下し、2年ぶりに低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、103.7で前年比7.7%低下し、3年連続して低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比6.4%低下、II期は同24.8%上昇、III期は同15.4%低下、IV期も同11.2%低下しました。

品目別にみると、ビデオカメラや無線応用装置などが減少し、固定通信装置などが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、23.7で前年末比31.7%上昇し、8年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比21.0%低下、II期は同0.0%で横ばい、III期は同24.5%上昇、IV期も同23.6%上昇しました。

品目別にみると、補聴器や金銭登録機が増加し、ボタン電話装置などが減少しました。

表8 情報通信機械工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

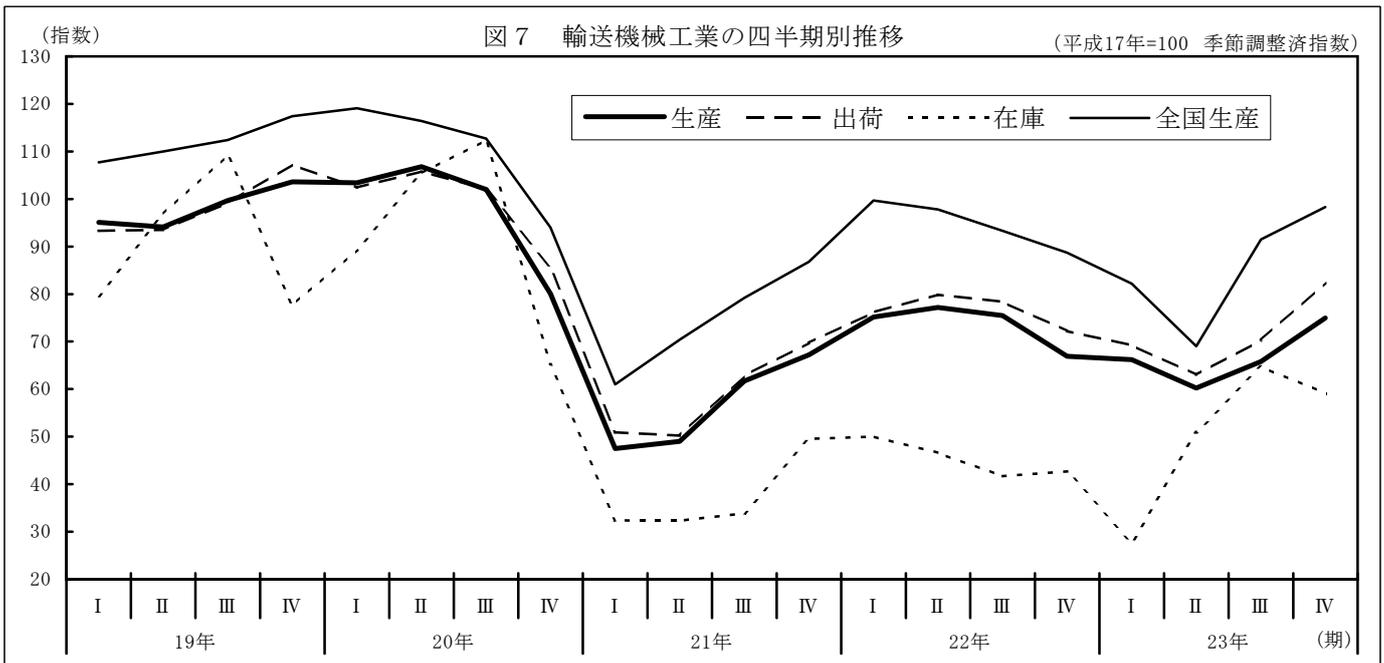
		22年		23年				上昇又は低下に寄与した品目	
		指数	対前年(期)増減率%	I	II	III	IV	増	減
生産	指数	96.2	90.5	86.7	108.4	92.9	81.5	増	固定通信装置、金銭登録機など
	対前年(期)増減率%	△ 9.2	△ 5.9	△ 6.4	25.0	△ 14.3	△ 12.3	減	無線応用装置、外部記憶装置、端末装置など
出荷	指数	112.4	103.7	99.6	124.3	105.2	93.4	増	固定通信装置、金銭登録機など
	対前年(期)増減率%	△ 10.2	△ 7.7	△ 6.4	24.8	△ 15.4	△ 11.2	減	ビデオカメラ、無線応用装置、端末装置など
在庫	指数	18.0	23.7	18.4	18.4	22.9	28.3	増	補聴器、金銭登録機
	対前年(期)末増減率%	△ 27.7	31.7	△ 21.0	0.0	24.5	23.6	減	ボタン電話装置、コードレスホンなど

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

*品目順は寄与度順に列記

<輸送機械工業>

—生産、出荷とも2年ぶりの低下—



<生産>

生産指数(原指数)は、67.0で前年比8.6%低下し、2年ぶりに低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比1.0%低下、II期も同9.1%低下、III期は同9.3%上昇、IV期も同14.0%上昇しました。

品目別にみると、乗用車ボデーや特装ボデーなどが減少し、鋼船などが増加しました。

また、全国の輸送機械工業の生産指数(原指数)は、85.3で前年比9.7%低下し、2年ぶりに低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、71.7で前年比6.3%低下し、2年ぶりに低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比4.2%低下、II期も同9.0%低下、III期は同11.6%上昇、IV期も同17.2%上昇しました。

品目別にみると、乗用車ボデーや特装ボデーなどが減少し、鋼船などが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、59.7で前年末比38.8%上昇し、4年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比35.1%低下、II期は同83.8%上昇、III期も同27.1%上昇、IV期は同8.7%低下しました。

品目別にみると、普通トラックや大型バスなどが増加し、小型トラックなどが低下しました。

表9 輸送機械工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

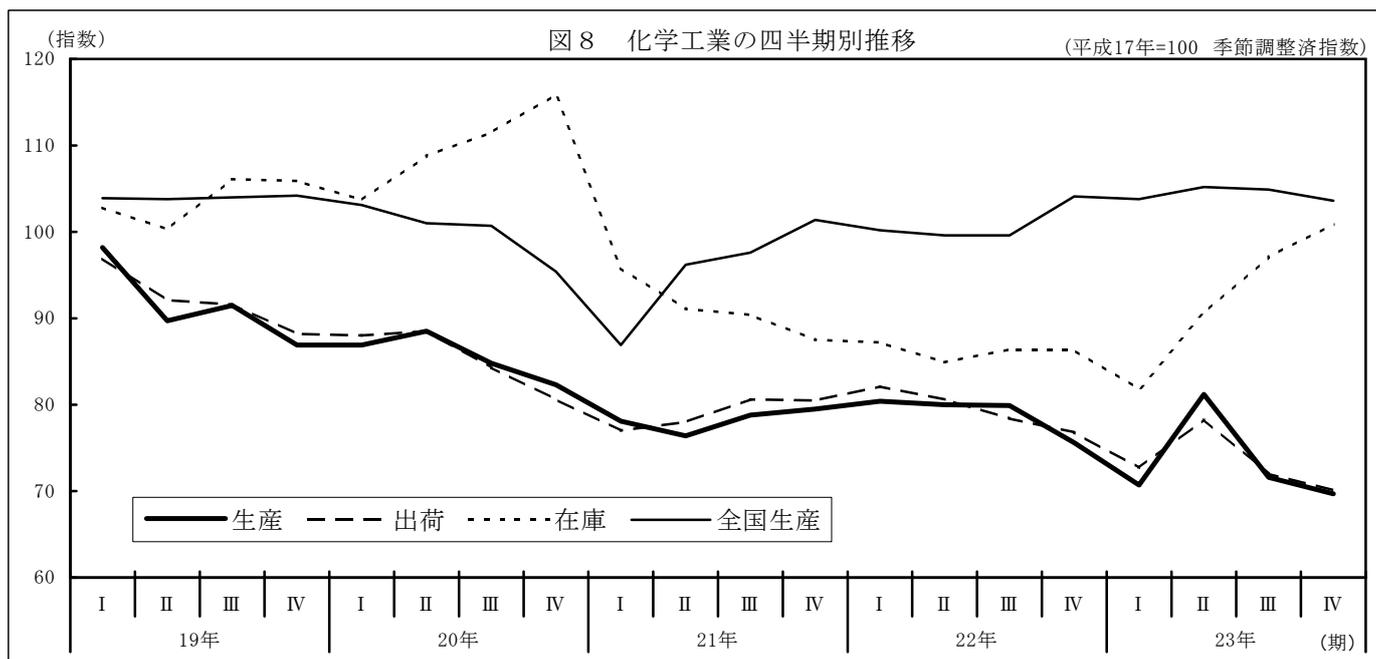
		22年		23年				上昇又は低下に寄与した品目	
		指数	増減率%	I	II	III	IV	増	減
生産	指数	73.3		66.2	60.2	65.8	75.0	鋼船、シャシー・車体部品など	乗用車ボデー、特装ボデー、自動車機関部品など
	対前年(期)増減率%	30.0	△ 8.6	△ 1.0	△ 9.1	9.3	14.0		
出荷	指数	76.5		69.2	63.0	70.3	82.4	鋼船、フォークリフトトラックなど	乗用車ボデー、特装ボデー、小型乗用車など
	対前年(期)増減率%	30.5	△ 6.3	△ 4.2	△ 9.0	11.6	17.2		
在庫	指数	43.0		27.7	50.9	64.7	59.1	普通トラック、大型バス、けん引車など	小型トラック、小型バスなど
	対前年(期)末増減率%	△ 11.3	38.8	△ 35.1	83.8	27.1	△ 8.7		

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

*品目順は寄与度順に列記

<化学工業>

—生産、出荷とも2年ぶりの低下—



<生産>

生産指数(原指数)は、73.1で前年比7.4%低下し、2年ぶりに低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比6.5%低下、II期は同14.9%上昇、III期は同11.8%低下、IV期も同2.7%低下しました。

品目別にみると、医薬品や化粧品などが減少し、合成ゴムなどが増加しました。

また、全国の化学工業の生産指数(原指数)は、104.2で前年比3.4%上昇し、2年連続して上昇しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、73.1で前年比7.9%低下し、2年ぶりに低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比5.3%低下、II期は同7.7%上昇、III期は同8.0%低下、IV期も同2.6%低下しました。

品目別にみると、医薬品や化粧品などが減少し、合成ゴムなどが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、102.3で前年末比17.2%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比5.2%低下、II期は同10.8%上昇、III期も同7.2%上昇、IV期も同3.9%上昇しました。

品目別にみると、合成ゴムや写真フィルムなどが増加し、純ベンゼンなどが低下しました。

表10 化学工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

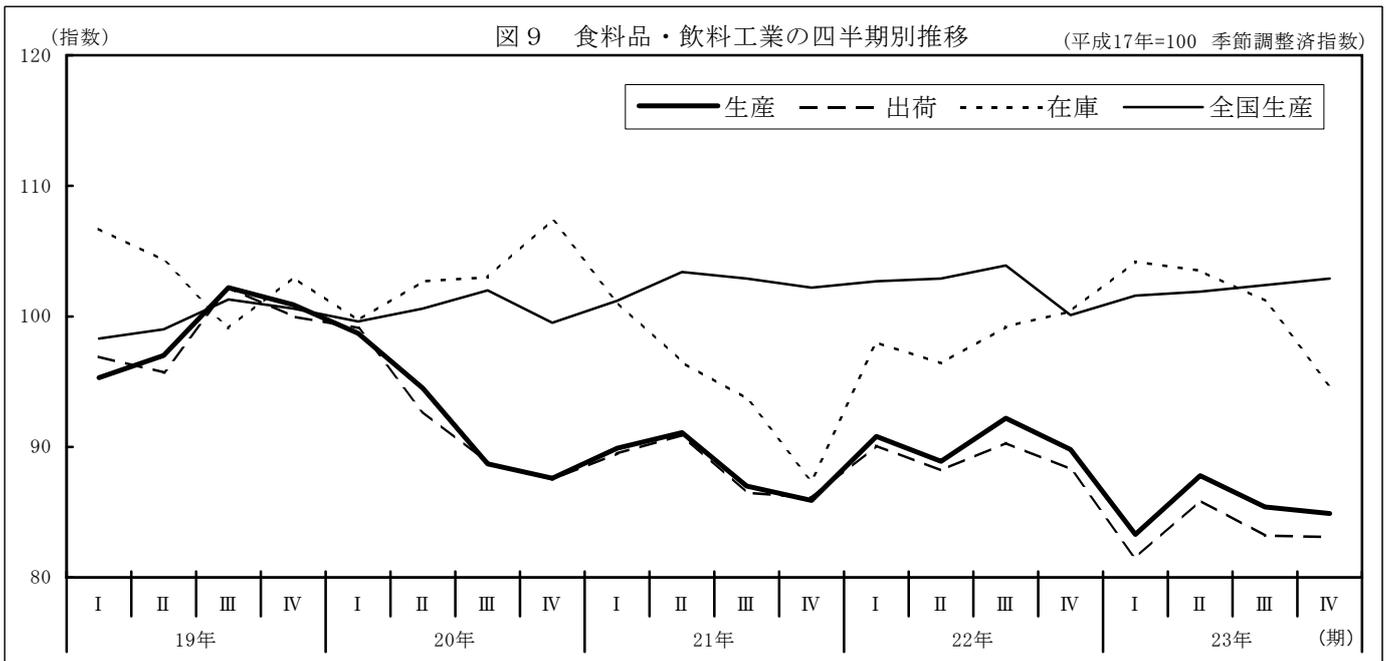
		22年	23年	23年				上昇又は低下に寄与した品目	
				I	II	III	IV	増	減
生産	指数	78.9	73.1	70.7	81.2	71.6	69.7	増	合成ゴム、酸化エチレンなど
	対前年(期)増減率%	1.0	△ 7.4	△ 6.5	14.9	△ 11.8	△ 2.7	減	医薬品、化粧品、写真フィルムなど
出荷	指数	79.4	73.1	72.7	78.3	72.0	70.1	増	合成ゴム、エチレングリコールなど
	対前年(期)増減率%	0.6	△ 7.9	△ 5.3	7.7	△ 8.0	△ 2.6	減	医薬品、化粧品、ポリエチレンなど
在庫	指数	87.3	102.3	81.8	90.6	97.1	100.9	増	合成ゴム、写真フィルム、ポリエチレンなど
	対前年(期)末増減率%	△ 0.3	17.2	△ 5.2	10.8	7.2	3.9	減	純ベンゼン、塩化ビニル樹脂など

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

*品目順は寄与度順に列記

<食料品・飲料工業>

—生産、出荷とも2年ぶりの低下—



<生産>

生産指数(原指数)は、85.3で前年比5.4%低下し、2年ぶりに低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比7.2%低下、II期は同5.4%上昇、III期は同2.7%低下、IV期も同0.6%低下しました。

品目別にみると、清涼飲料(炭酸飲料除く)や炭酸飲料などが減少し、チョコレートなどが増加しました。また、全国の食料品・たばこ工業の生産指数(原指数)は、102.0で前年比0.4%低下し、5年ぶりに低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、83.2で前年比6.6%低下し、2年ぶりに低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比7.7%低下、II期は同5.4%上昇、III期は同3.1%低下、IV期も同0.1%低下しました。

品目別にみると、清涼飲料(炭酸飲料除く)や炭酸飲料などが減少し、チョコレートなどが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、87.2で前年末比6.1%低下し、2年ぶりに低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比3.8%上昇、II期は同0.7%低下、III期も同2.2%低下、IV期も同6.4%低下しました。

品目別にみると、清涼飲料(炭酸飲料除く)や炭酸飲料などが減少し、小麦粉などが増加しました。

表 1 1 食料品・飲料工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

		22年	23年	23年				上昇又は低下に寄与した品目	
				I	II	III	IV		
生産	指数	90.2	85.3	83.3	87.8	85.4	84.9	増	チョコレート、果実酒など
	対前年(期)増減率%	2.2	△ 5.4	△ 7.2	5.4	△ 2.7	△ 0.6	減	清涼飲料(炭酸飲料除く)、炭酸飲料、牛乳など
出荷	指数	89.1	83.2	81.5	85.9	83.2	83.1	増	チョコレート、チーズなど
	対前年(期)増減率%	1.1	△ 6.6	△ 7.7	5.4	△ 3.1	△ 0.1	減	清涼飲料(炭酸飲料除く)、炭酸飲料、牛乳など
在庫	指数	92.9	87.2	104.2	103.5	101.2	94.7	増	小麦粉、肉製品など
	対前年(期)末増減率%	15.1	△ 6.1	3.8	△ 0.7	△ 2.2	△ 6.4	減	清涼飲料(炭酸飲料除く)、炭酸飲料、牛乳など

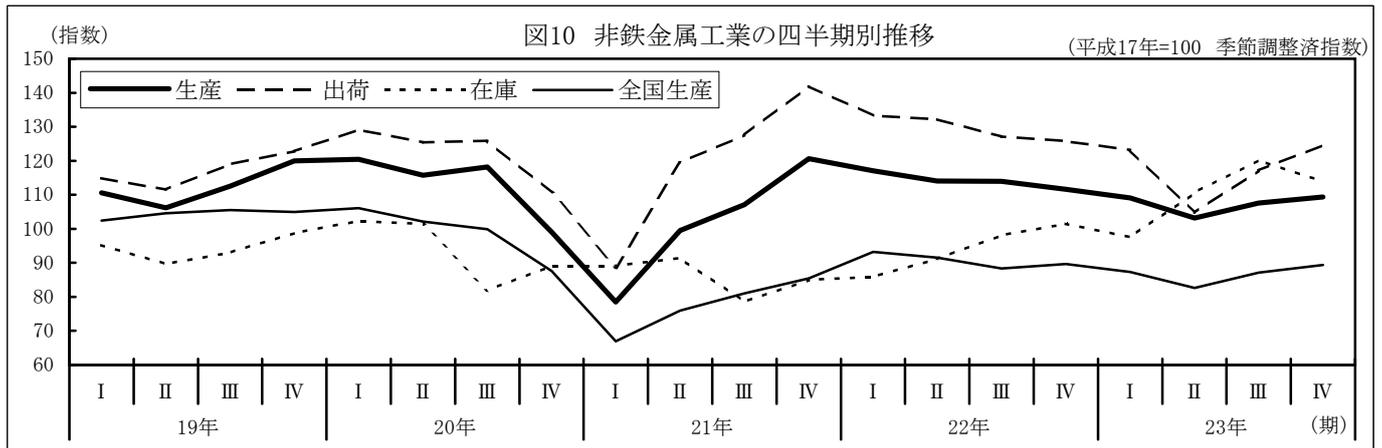
*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

*品目順は寄与度順に列記

(2) その他の業種の動向

<非鉄金属工業>

－生産、出荷とも2年ぶりの低下－



<生産>

生産指数(原指数)は、107.0で前年比6.1%低下し、2年ぶりに低下しました。
品目別にみると、光ファイバや伸銅製品などが減少し、ダイカストが増加しました。
また、全国の非鉄金属工業の生産指数(同)は、86.4で前年比4.5%低下し、2年ぶりに低下しました。

<出荷>

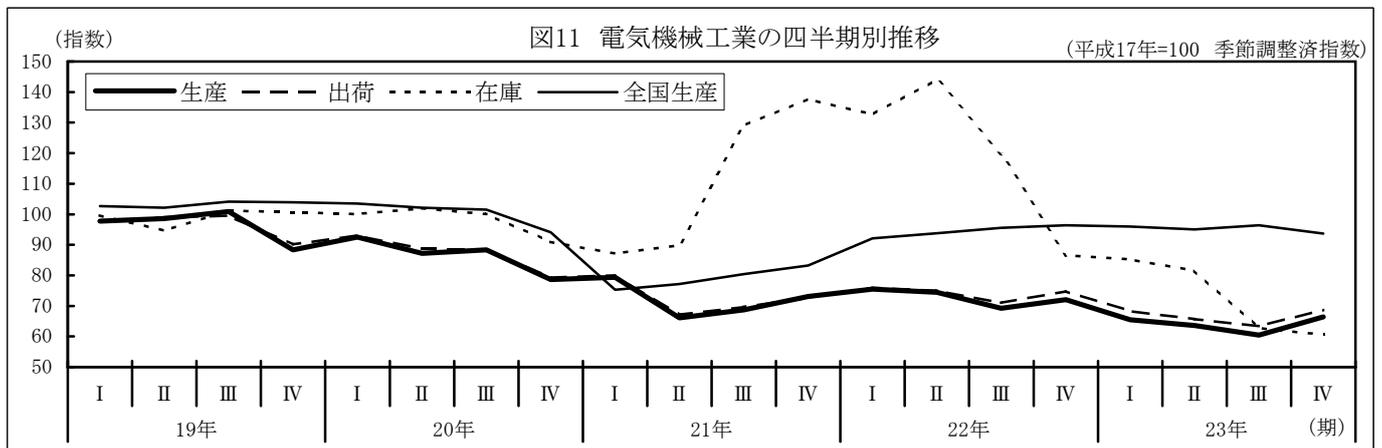
出荷指数(原指数)は、117.1で前年比9.4%低下し、2年ぶりに低下しました。
品目別にみると、光ファイバや伸銅製品などが減少し、ダイカストが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、117.0で前年末比12.1%上昇し、2年連続して上昇しました。
品目別にみると、通信用電線・ケーブルや伸銅製品が増加し、銅電線が減少しました。

<電気機械工業>

－生産、出荷とも2年ぶりの低下－



<生産>

生産指数(原指数)は、64.1で前年比12.3%低下し、2年ぶりに低下しました。
品目別にみると、自動車用照明器具や交流発電機などが減少し、工業用計測制御機器などが増加しました。
また、全国の電気機械工業の生産指数(同)は、94.9で前年比0.5%上昇し、2年連続して上昇しました。

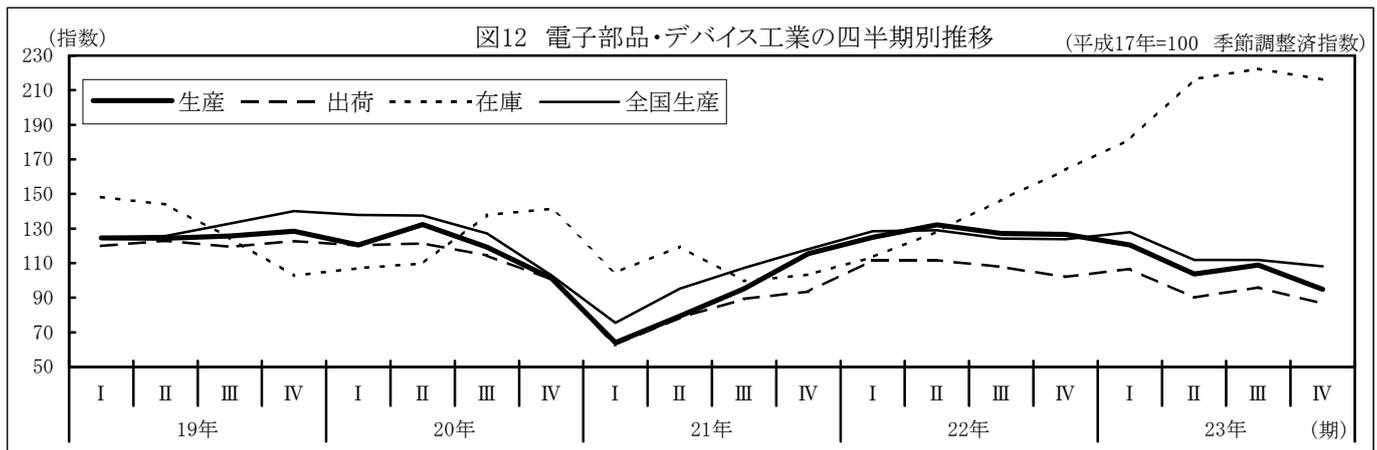
<出荷>

出荷指数(原指数)は、66.5で前年比10.5%低下し、2年ぶりに低下しました。
品目別にみると、自動車用照明器具や交流発電機などが減少し、工業用計測制御機器などが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、66.3で前年末比29.6%低下し、2年連続して低下しました。
品目別にみると、自動車用照明器具や蛍光灯器具などが減少し、一般用白熱灯器具などが増加しました。

＜電子部品・デバイス工業＞ ー生産、出荷とも2年ぶりの低下ー



＜生産＞

生産指数(原指数)は、106.2で前年比16.8%低下し、2年ぶりに低下しました。

品目別にみると、コネクタやモス型半導体集積回路(CCD)などが減少し、磁気テープなどが増加しました。

また、全国の電子部品・デバイス工業の生産指数(同)は、114.4で前年比9.4%低下し、2年ぶりに低下しました。

＜出荷＞

出荷指数(原指数)は、94.3で前年比12.7%低下し、2年ぶりに低下しました。

品目別にみると、モス型半導体集積回路(論理素子)やコネクタなどが減少し、磁気テープなどが増加しました。

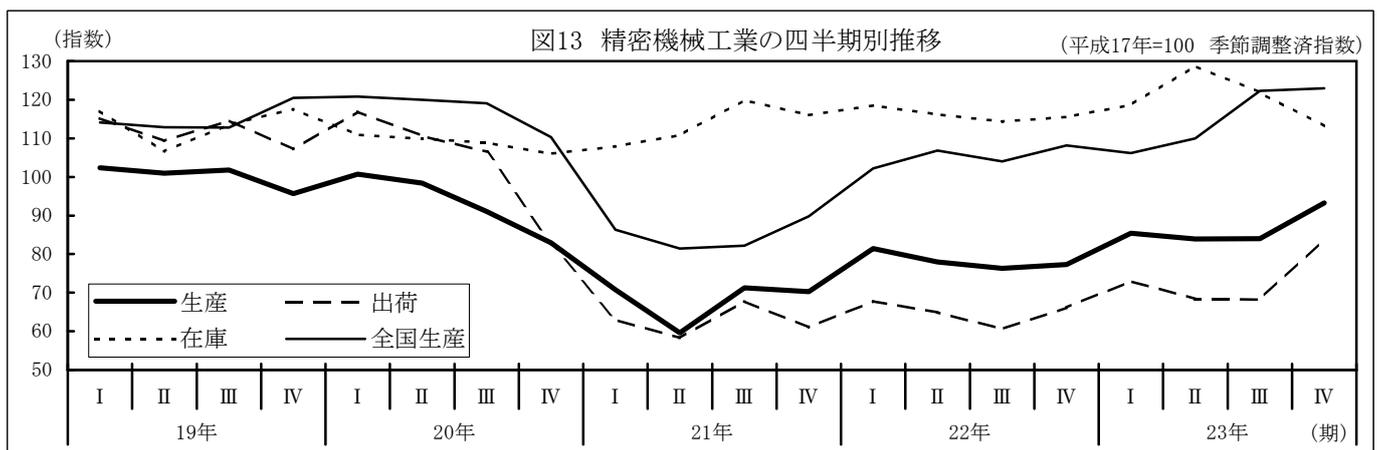
＜在庫＞

在庫指数(原指数)は、225.1で前年末比31.3%上昇し、2年連続して上昇しました。

品目別にみると、モス型半導体集積回路(論理素子)や光電変換素子などが増加し、線型半導体集積回路が減少しました。

＜精密機械工業＞

ー生産、出荷とも2年連続の上昇ー



＜生産＞

生産指数(原指数)は、86.0で前年比10.3%上昇し、2年連続して上昇しました。

品目別にみると、精密測定機や積算体積計などが増加し、測量機器などが減少しました。

また、全国の精密機械工業の生産指数(同)は、115.1で前年比9.5%上昇し、2年連続して上昇しました。

＜出荷＞

出荷指数(原指数)は、72.8で前年比12.5%上昇し、2年連続して上昇しました。

品目別にみると、精密測定機や積算体積計などが増加し、測量機器などが減少しました。

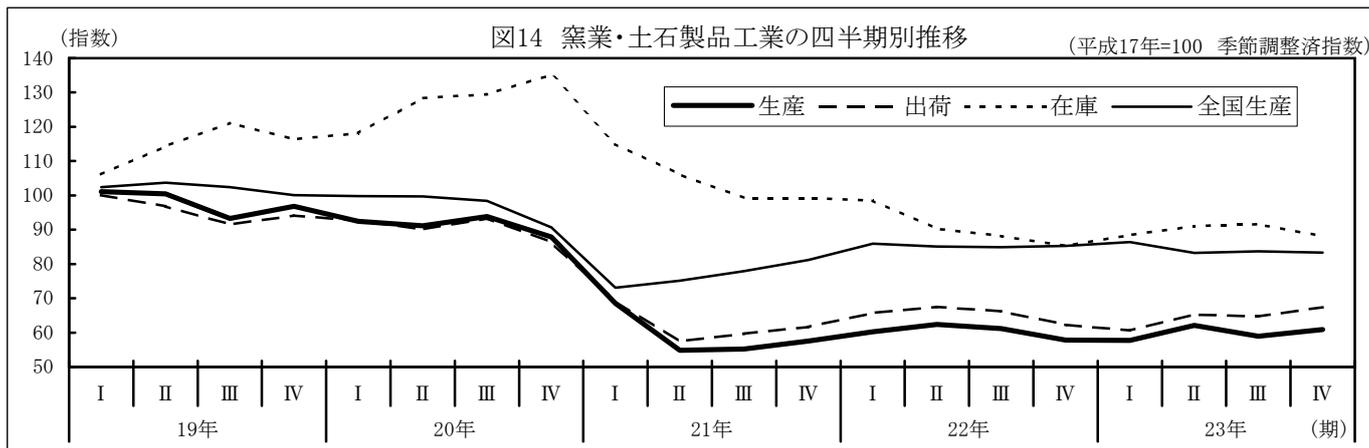
＜在庫＞

在庫指数(原指数)は、116.3で前年末比2.4%低下し、2年連続して低下しました。

品目別にみると、精密測定機や測量機器などが減少し、環境計測機器などが増加しました。

<窯業・土石製品工業>

—生産、出荷とも2年ぶりの低下—



<生産>

生産指数(原指数)は、59.9で前年比0.7%低下し、2年ぶりに低下しました。
 品目別にみると、安全ガラスやガラス製容器類などが減少し、生コンクリートなどが増加しました。
 また、全国の窯業・土石製品工業の生産指数(同)は、84.0で前年比1.4%低下し、2年ぶりに低下しました。

<出荷>

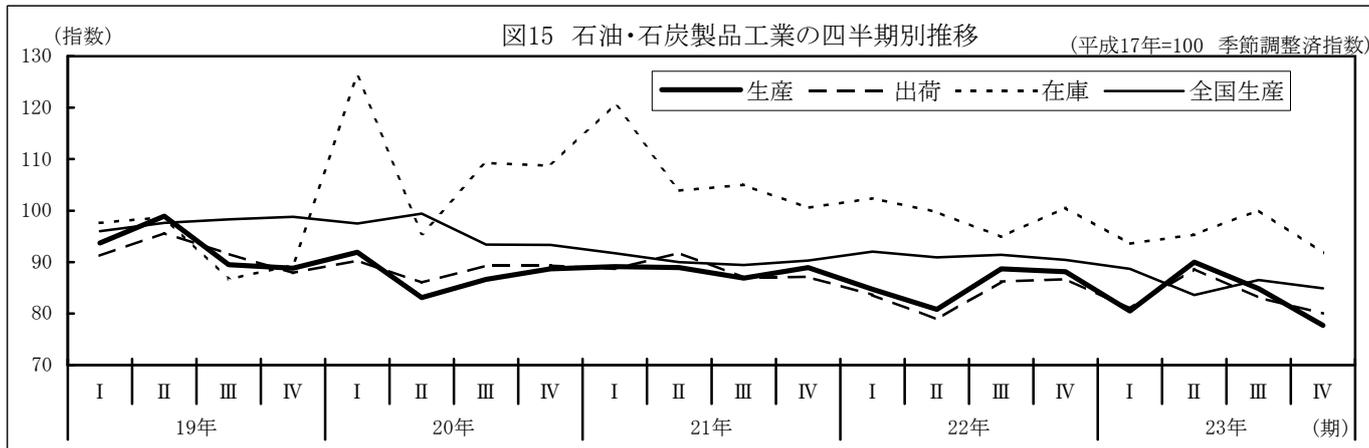
出荷指数(原指数)は、64.3で前年比1.5%低下し、2年ぶりに低下しました。
 品目別にみると、安全ガラスやガラス製容器類などが減少し、生コンクリートなどが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、87.4で前年末比3.2%上昇し、3年ぶりに上昇しました。
 品目別にみると、安全ガラスや板ガラスなどが増加し、ガラス製容器類などが減少しました。

<石油・石炭製品工業>

—生産は2年連続して低下、出荷は6年連続の低下—



<生産>

生産指数(原指数)は、83.2で前年比2.9%低下し、2年連続して低下しました。
 品目別にみると、ガソリンや軽油などが減少し、A重油などが増加しました。
 また、全国の石油・石炭製品工業の生産指数(同)は、85.9で前年比5.7%低下し、2年ぶりに低下しました。

<出荷>

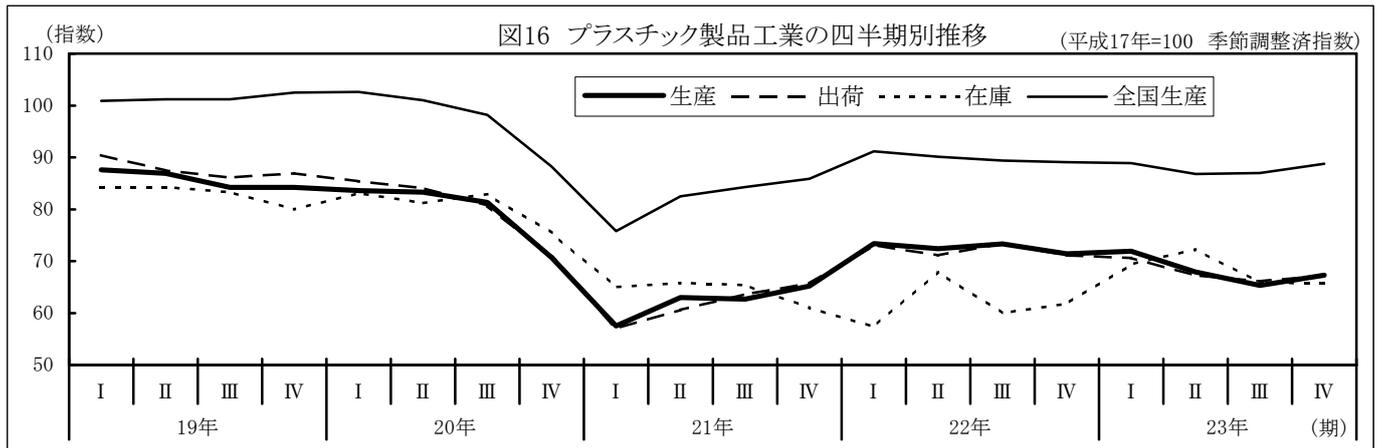
出荷指数(原指数)は、83.0で前年比1.0%低下し、6年連続して低下しました。
 品目別にみると、ガソリンや精製及び混合原料油などが減少し、C重油などが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、88.5で前年末比9.0%低下し、3年連続して低下しました。
 品目別にみると、ガソリンや灯油などが減少し、コークスなどが増加しました。

＜プラスチック製品工業＞

－生産、出荷とも2年ぶりの低下－



＜生産＞

生産指数(原指数)は、67.9で前年比6.3%低下し、2年ぶりに低下しました。
 品目別にみると、プラスチック製機械器具部品やプラスチック製容器などが減少し、強化プラスチック製品などが増加しました。
 また、全国のプラスチック製品工業の生産指数(同)は、87.6で前年比2.4%低下し、2年ぶりに低下しました。

＜出荷＞

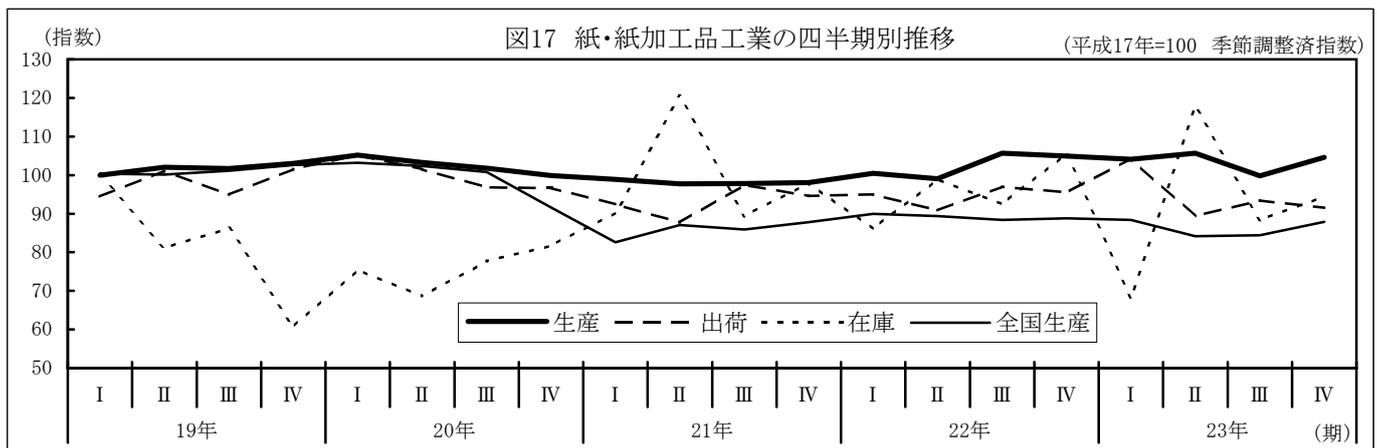
出荷指数(原指数)は、67.5で前年比6.3%低下し、2年ぶりに低下しました。
 品目別にみると、プラスチック製機械器具部品や日用品・雑貨プラスチック製品などが減少し、プラスチック製フィルム・シートなどが増加しました。

＜在庫＞

在庫指数(原指数)は、65.0で前年末比4.2%上昇し、2年連続して上昇しました。
 品目別にみると、プラスチック製機械器具部品やプラスチック製パイプなどが増加し、プラスチック製容器が減少しました。

＜紙・紙加工品工業＞

－生産は2年連続して上昇、出荷は横ばい－



＜生産＞

生産指数(原指数)は、103.4で前年比0.9%上昇し、2年連続して上昇しました。
 品目別にみると、段ボールシートや衛生用紙が増加しました。
 また、全国のパルプ・紙・紙加工品工業の生産指数(同)は、86.1で前年比3.4%低下し、2年ぶりに低下しました。

＜出荷＞

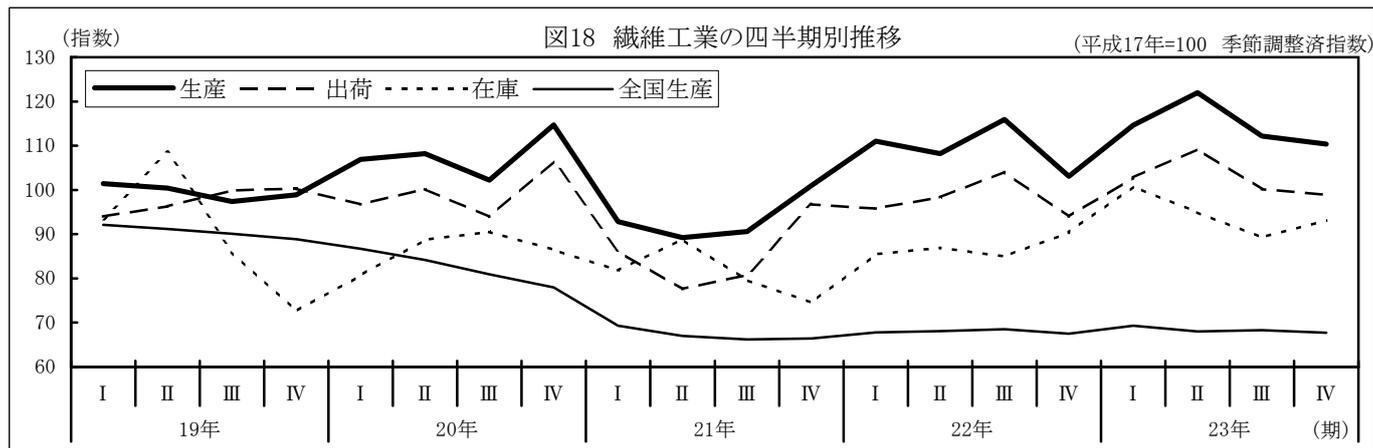
出荷指数(原指数)は、94.3で前年比0.0%で、横ばいとなりました。
 品目別にみると、衛生用紙が増加し、段ボールシートが減少しました。

＜在庫＞

在庫指数(原指数)は、82.3で前年末比6.6%低下し、4年ぶりに低下しました。
 品目別にみると、衛生用紙や段ボールシートが減少しました。

<繊維工業>

－生産、出荷とも2年連続して上昇－



<生産>

生産指数(原指数)は、114.7で前年比5.1%上昇し、2年連続して上昇しました。
品目別にみると、合成繊維やニット・織物製外衣が増加し、ふとんなどが減少しました。
また、全国の繊維工業の生産指数(同)は、68.3で前年比0.6%上昇し、2年連続して上昇しました。

<出荷>

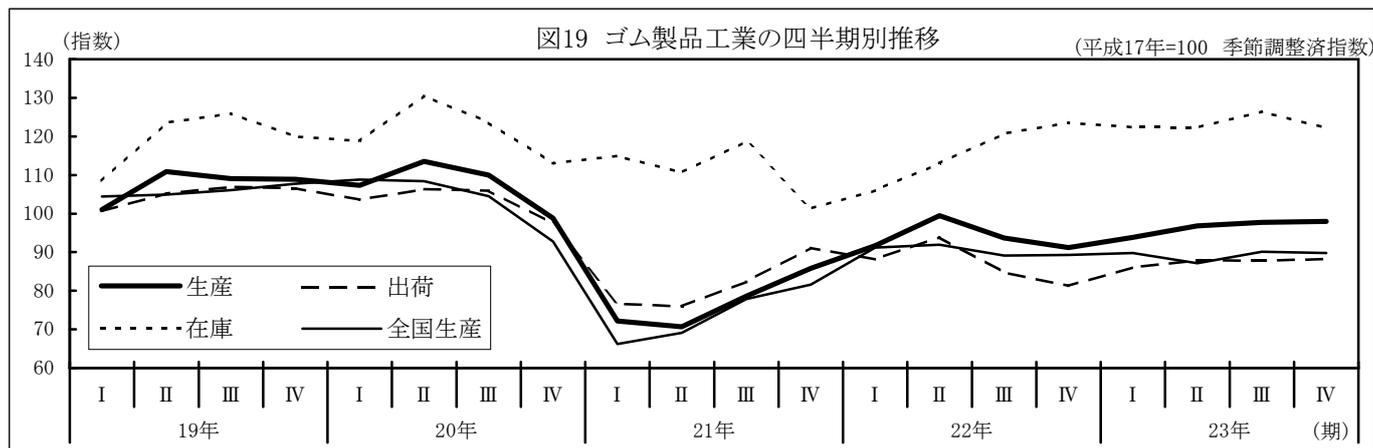
出荷指数(原指数)は、102.1で前年比4.7%上昇し、2年連続して上昇しました。
品目別にみると、合成繊維やニット・織物製外衣が増加し、ふとんなどが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、116.4で前年末比2.8%上昇し、2年連続して上昇しました。
品目別にみると、不織布やニット・織物製外衣などが増加し、合成繊維が減少しました。

<ゴム製品工業>

－生産、出荷とも2年連続して上昇－



<生産>

生産指数(原指数)は、96.5で前年比2.7%上昇し、2年連続して上昇しました。
品目別にみると、ゴムホースやコンベヤベルトが増加し、工業用ゴム製品などが減少しました。
また、全国のゴム製品工業の生産指数(同)は、89.0で前年比1.4%低下し、2年ぶりに低下しました。

<出荷>

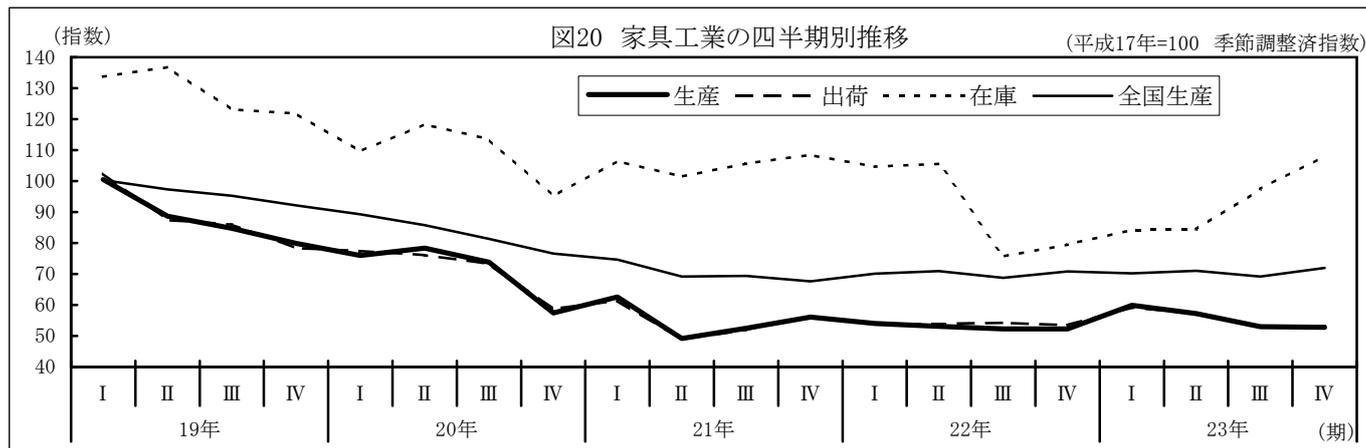
出荷指数(原指数)は、87.3で前年比0.7%上昇し、2年連続して上昇しました。
品目別にみると、コンベヤベルトやゴムホースが増加し、工業用ゴム製品などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、113.0で前年末比3.3%低下し、2年ぶりに低下しました。
品目別にみると、コンベヤベルトやゴムホースが減少し、工業用ゴム製品が増加しました。

<家具工業>

—生産、出荷とも7年ぶりの上昇—



<生産>

生産指数(原指数)は、55.8で前年比4.9%上昇し、7年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、金属製いすや金属製間仕切りなどが増加し、その他の金属製家具などが減少しました。
また、全国の家具工業の生産指数(同)は、70.3で前年比0.1%上昇し、2年連続して上昇しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、55.8で前年比3.3%上昇し、7年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、金属製いすや金属製間仕切りなどが増加し、その他の金属製家具などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、113.8で前年末比36.9%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、流し・ガス・調理台やその他の金属製家具などが増加し、金属製引出箱などが減少しました。

3 財別の出荷動向

ー 最終需要財、生産財ともに2年ぶりの低下 ー

平成23年の出荷動向を特殊分類による財別でみると、**最終需要財出荷指数**（原指数）は、78.3で前年比4.6%低下し、2年ぶりに低下しました。

また、**生産財出荷指数**（原指数）は、79.2で前年比4.3%低下し、2年ぶりに低下しました。

これらの財を四半期別（季節調整済指数）にみると、最終需要財はⅠ期は前期比5.9%低下、Ⅱ期は同6.8%上昇、Ⅲ期は同4.1%低下、Ⅳ期は同6.1%上昇しました。生産財はⅠ期は前期比2.9%低下、Ⅱ期は同0.8%上昇、Ⅲ期は同0.6%低下、Ⅳ期は同1.9%低下しました。

（1）最終需要財

ア 投資財（資本財・建設財）

資本財出荷指数（原指数）は、82.9で前年比2.1%低下し、2年ぶりに低下しました。

品目別にみると、半導体製造装置や普通トラックなどが減少し、装軌式トラクタなどが増加しました。

建設財出荷指数（原指数）は、85.5で前年比10.7%低下し、2年ぶりに低下しました。

品目別にみると、橋りょうやベンディングロール成型鋼管などが減少し、エレベータなどが増加しました。

イ 消費財（耐久消費財・非耐久消費財）

耐久消費財出荷指数（原指数）は、55.6で前年比9.4%低下し、2年ぶりに低下しました。

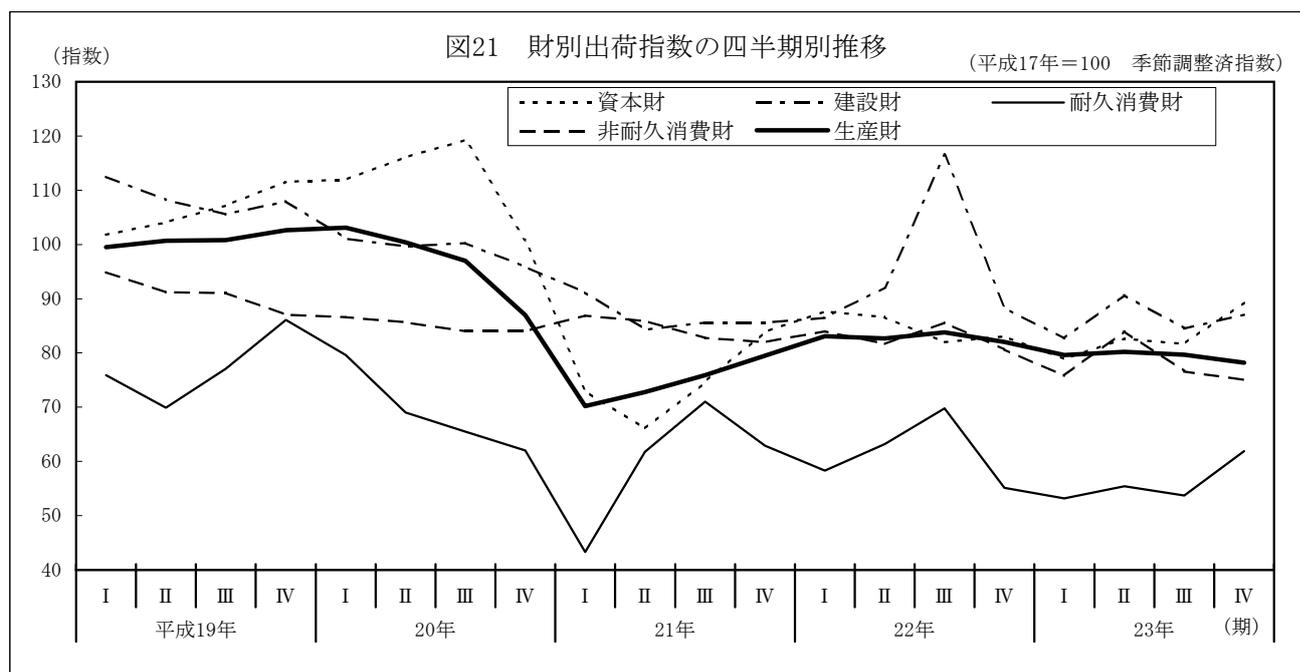
品目別にみると、小型乗用車やビデオカメラなどが減少し、普通乗用車などが増加しました。

非耐久消費財出荷指数（原指数）は、77.6で前年比6.4%低下し、6年連続して低下しました。品目別にみると、医薬品や化粧品などが減少し、チョコレートなどが増加しました。

（2）生産財

品目別にみると、乗用車ボデーや特装ボデーなどが減少し、油圧機器などが増加しました。

（P21表12、表13参照）



（特殊分類についてはP87、P89表14参照）

表 1 2 財別出荷指数の対前年・対前期増減率

(平成17年=100)

財	年・期	20年	21年	22年	23年	23年				
						IV	I	II	III	IV
製造工業	指数	97.7	75.4	82.4	78.6	80.8	77.3	80.4	78.0	80.4
	対前年(期)増減率%	△ 1.5	△ 22.8	9.3	△ 4.6	△ 3.7	△ 4.3	4.0	△ 3.0	3.1
最終需要財	指数	98.3	76.0	82.1	78.3	80.0	75.3	80.4	77.1	81.8
	対前年(期)増減率%	0.2	△ 22.7	8.0	△ 4.6	△ 4.3	△ 5.9	6.8	△ 4.1	6.1
投資財	指数	110.9	75.2	85.8	83.1	84.0	79.4	83.7	81.4	89.5
	対前年(期)増減率%	4.6	△ 32.2	14.1	△ 3.1	△ 0.7	△ 5.5	5.4	△ 2.7	10.0
資本財	指数	112.1	74.1	84.7	82.9	83.1	78.9	82.7	81.7	89.3
	対前年(期)増減率%	6.1	△ 33.9	14.3	△ 2.1	1.3	△ 5.1	4.8	△ 1.2	9.3
建設財	指数	99.2	86.1	95.7	85.5	88.4	82.7	90.7	84.5	87.1
	対前年(期)増減率%	△ 8.6	△ 13.2	11.1	△ 10.7	△ 24.1	△ 6.4	9.7	△ 6.8	3.1
消費財	指数	80.8	77.0	77.0	71.6	73.6	69.0	76.8	70.8	71.1
	対前年(期)増減率%	△ 7.3	△ 4.7	0.0	△ 7.0	△ 10.2	△ 6.3	11.3	△ 7.8	0.4
耐久消費財	指数	69.4	58.8	61.4	55.6	55.1	53.2	55.4	53.7	61.9
	対前年(期)増減率%	△ 10.2	△ 15.3	4.4	△ 9.4	△ 21.1	△ 3.4	4.1	△ 3.1	15.3
非耐久消費財	指数	85.2	84.0	82.9	77.6	80.7	75.8	84.0	76.6	75.1
	対前年(期)増減率%	△ 6.3	△ 1.4	△ 1.3	△ 6.4	△ 5.7	△ 6.1	10.8	△ 8.8	△ 2.0
生産財	指数	97.0	74.5	82.8	79.2	82.0	79.6	80.2	79.7	78.2
	対前年(期)増減率%	△ 3.7	△ 23.2	11.1	△ 4.3	△ 2.1	△ 2.9	0.8	△ 0.6	△ 1.9

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整指数

表 1 3 財別出荷指数の上昇又は低下に寄与した主要品目

財	対前年増減率%	寄与度(ポイント)	上昇又は低下に寄与した主な品目	
			増	減
生産財	△ 4.3	△ 1.84	増	油圧機器、蒸気タービン部品など
			減	乗用車ボデー、特装ボデー、自動車機関部品など
非耐久消費財	△ 6.4	△ 1.13	増	チョコレート、チーズなど
			減	医薬品、化粧品、清涼飲料(炭酸飲料除く)など
資本財	△ 2.1	△ 0.66	増	装軌式トラクタ、鋼船など
			減	半導体製造装置、普通トラック、無線応用装置など
耐久消費財	△ 9.4	△ 0.47	増	普通乗用車、一般用白熱灯器具など
			減	小型乗用車、ビデオカメラ、蛍光灯器具など
建設財	△ 10.7	△ 0.39	増	エレベータ、生コンクリートなど
			減	橋りょう、バンディングロール成型鋼管、ガス機器など

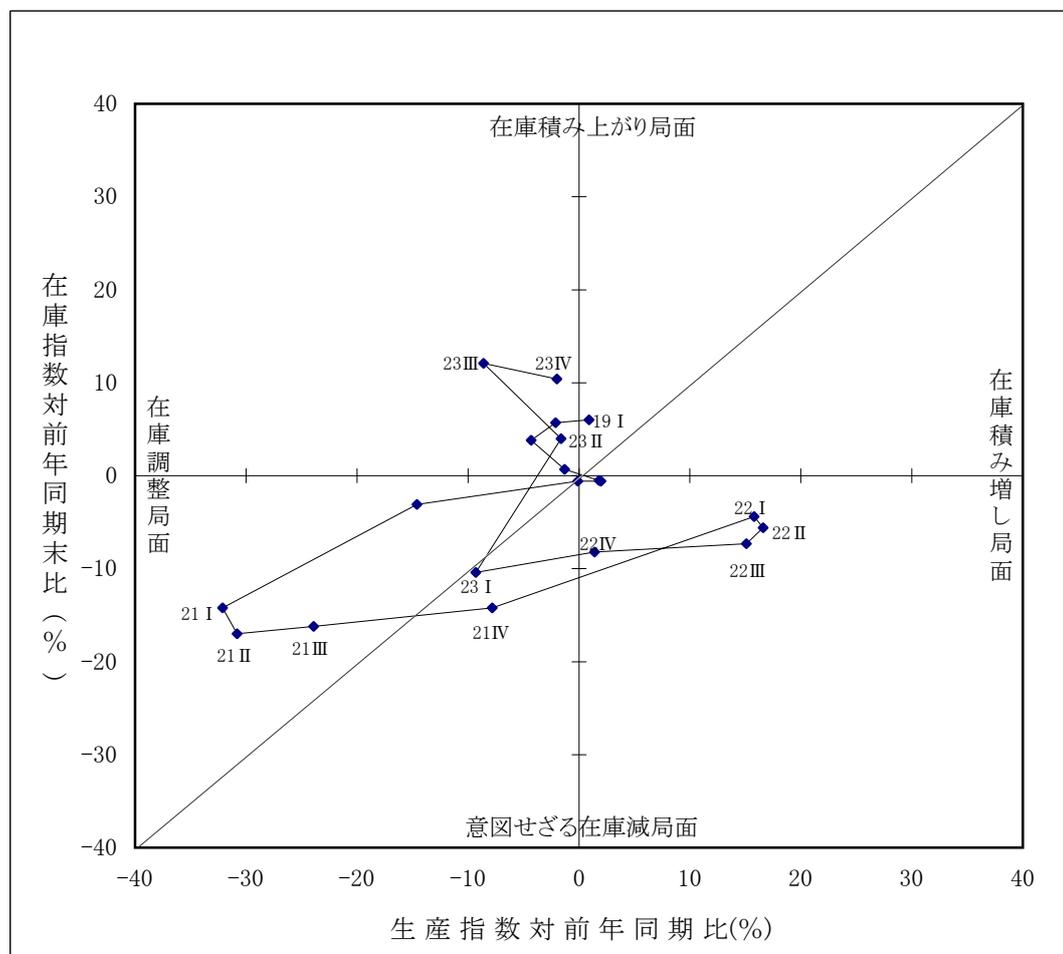
<参考> 在庫循環図

平成23年Ⅰ期の生産指数（原指数）は前年同期比9.3%低下し、在庫指数（原指数）は前年同期末比10.4%低下しました。Ⅱ期の生産指数（原指数）は前年同期比1.6%低下し、在庫指数（原指数）は前年同期末比4.0%上昇しました。Ⅲ期の生産指数（原指数）は前年同期比8.6%低下し、在庫指数（原指数）は前年同期末比12.1%上昇しました。Ⅳ期の生産指数（原指数）は前年同期比2.0%低下し、在庫指数（原指数）は前年同期末比10.4%上昇しました。

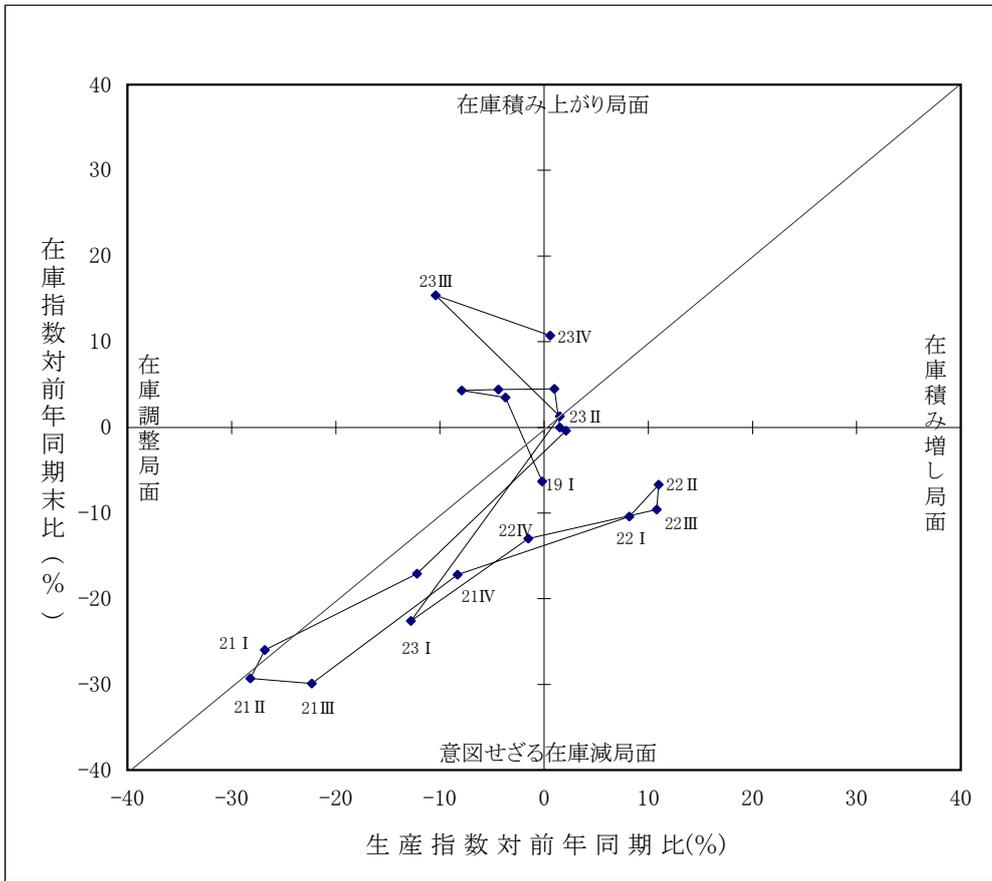
※在庫循環図の見方（生産と在庫について、以下のような循環が見られる場合が多い。）

- 意図せざる在庫減局面：需要が予測を上回り、一時的に在庫が減少する。
- 在庫積み増し局面：生産を増加させて、在庫を積み増している。
- 在庫積み上がり局面：需要が予測を下回り、在庫が積みあがってしまう。
- 在庫調整局面：生産を縮小し、積みあがった在庫を減らしている。

製造工業



最終需要財



生産財

